

人体・家畜寄生虫
(原虫・衛生昆虫)
日本住血吸虫病
(片山病を含む)
関係資料目録

2017年(平成29年) 作成
2018年(平成30年)3月改訂

福山市医師会より寄贈
福山市中央図書館 作成

分類および目次

A 書籍	p1
B 逐次刊行物	p5
C 論文等抜粋	p7
D その他	p29
E 手書き資料	p31
写真等	p33
F 追加資料	p34

片山病関係《A書籍》

No	書名	編著者	出版社	出版年	規格
A1	最新臨床寄生虫病学 蠕虫性疾患 I	宮川 米次／著	中外醫學社	1956	311p, 27cm
A2	最新臨床寄生虫病学 蠕虫性疾患 II	宮川 米次／著	中外醫學社	1957	395p, 27cm
A3	理論血清学	緒方 富雄／著	東京大学出版会	1965	380p, 27cm
A4	漢方医語辞典	西山 英雄／編著	創元社	1978	358p, 26cm
A5	家畜寄生虫学	板垣 四郎, 板垣 博／著	金原出版	1965	406p, 27cm
A6	家畜寄生虫病学	板垣 四郎, 久米 清治／著	朝倉書店	1959	276p, 27cm
A7	家畜寄生虫病学	板垣 四郎, 久米 清治／著	朝倉書店	1959	276p, 27cm
A8	家畜寄生虫病診療学	石井 進[等]／編集	文永堂	1961	596p, 27cm
A9	人体寄生虫学提要	横川 定[等]／著	杏林書院	1960	496p, 26cm
A10	寄生動物學第一卷 人體寄生蠕蟲篇	小泉 丹／著	南山堂書店	1927	448p, 26cm
A11	人體寄生動物學(全)	小泉 丹／著	南山堂書店	1912	570p, 26cm
A12	肺吸虫の形態検討 (特にその形態分類に関して)	岩田 正俊, 永吉康祐／編著	たたら書房	1988	210p, 26cm
A13	家畜・人の肝蛭症	小野 豊／編著	日本獣医師会	1972	173p, 27cm
A14	寄生蟲病の診断と治療	江口 孝雄, 岩田 繁雄／著	日本医書出版	1949	200p, 26cm
A15	寄生虫学会50年のあゆみ (1929-1979)		日本寄生虫学会	1981	119p, 27cm
A16	臨床 人體寄生蟲病学 蠕虫病編	宮川 米次／著	克誠堂書店	1941	409p, 27cm
A17	蛔蟲毒の研究 その形態學的, 生理學的, 化學的研究	小泉 丹／著	岩波書店	1954	336p, 27cm
A18	地方病とのたたかい 1977		山梨地方病撲滅協力会	1977	330p, 27cm
A19	地方病とのたたかい —日本住血吸虫病・医療編—		山梨地方病撲滅協力会	1981	309p, 27cm
A20	内外普通動物誌 脊椎動物篇	秋山 蓮三／著	興風社	1913	1193, 50, 35p 23cm
A21	動物分類表	谷津 直秀／著	丸善	1938	501p, 23cm
A22	肝蛭症診療法	中村 良一／著	養賢堂	1964	165p, 22cm
A23	科学史(体系日本史叢書13)	杉本 勲／編	山川出版社	1969	494, 49p, 22cm
A24	日本淡水魚並に其寄生蟲	小林 久雄／著	養賢堂	1935	148p, 24cm
A25	人體寄生動物編	飯島 魁／著	不明	1988	490p, 23cm
A26	日本蟹類圖説	酒井 恒／著	三省堂	1945	239p図版, 22cm

片山病関係《A書籍》

No	書名	編著者	出版社	出版年	規格
A27	人体寄生虫ハンドブック	松林 久吉／編	朝倉書店	1965	440p, 22cm
A28	寄生虫研究の実際	横川 定, 横川 宗雄／著	杏林書院	1957	179p, 22cm
A29	家畜寄生虫病學	山下 次郎／著	文永堂	1954	226p, 22cm
A30	寄生原蟲研究之葉	宮入 慶之助／著	正文舎	1937	128p, 22cm
A31	家畜寄生蟲學提要	板垣 四郎／著	克誠堂出版	1951	166p, 22cm
A36	最新寄生虫病學 I	森下 薫／編	醫學書院	1951	96, 24p, 21cm
A37	最新寄生虫病學 II	森下 薫／編	醫學書院	1951	45, 44p, 22cm
A38	最新寄生虫病學 III	森下 薫／編	醫學書院	1951	52, 57p, 23cm
A39	最新寄生虫病學 IV	森下 薫／編	醫學書院	1951	54, 43p, 24cm
A40	最新寄生虫病學 V	森下 薫／編	醫學書院	1951	39, 67p, 24cm
A41	家畜内寄生虫病	渡邊 昇蔵／著	日本獣医師会	1951	110p, 21cm
A42	日本の伝染病－私のノートから－	安原 美王麿／著	安原 美王麿	1972	94p, 21cm
A46	岩波講座 生物學(動物學) 寄生原蟲類	小泉 丹／著	岩波書店	1930	14p, 23cm
A47	岩波講座 生物學(動物學) 圓蟲類	森下 薫／著	岩波書店	不明	50p, 23cm
A48	岩波講座 生物學(動物學) 原蟲類	宮下 義信／著	岩波書店	1930	75p, 23cm
A49	岩波講座 生物學(特殊問題) 動物命名規約	江崎 悌三／著	岩波書店	1930	41p, 23cm
A50	岩波講座 生物學(特殊問題) 魚類講話	田中 茂穂／著	岩波書店	1931	59p, 23cm
A51	寄生動物の基礎知識 (綜合医学新書No. 12)	佐々 学／著	日本医学雑誌	1950	89p, 21cm
A52	寄生虫検査指針 衛生検査指針 II	厚生省／監修	日本寄生虫予防会	1965	101p, 21cm
A53	広島県の歴史(県史シリーズ34)	後藤 陽一／著	山川出版社	1972	230, 92p, 19cm
A54	蛔虫讀本	小泉 丹／著	中央公論社	1950	159p, 19cm
A55	傳染病を媒介する鼠族昆蟲撲滅 指針	金原 一郎／編	日本醫學雜誌	1946	139p, 19cm
A56	人體内ダニ症(醫家叢書80)	佐々 学／著	醫學書院	1951	79p, 19cm
A57	驅虫藥の使用法(醫家叢書19)	松林 久吉／著	醫學書院	1951	58p, 19cm
A58	臨床家に必要なる消毒法(下巻) (臨床醫學講座)	小島 三郎／著	金原商店	1941	52p, 18cm
A59	化學療法	宮川 米次／著	日本醫書出版	1947	146p, 18cm

片山病関係《A書籍》

No	書名	編著者	出版社	出版年	規格
A60	蛔虫病の化学療法	栗秋 要／著	日本医学雑誌	1950	76, 10p, 18cm
A61	寄生蟲	内務省衛生局／編	大日本私立衛生會	1924	46p, 19cm
A62	家畜の腰麻痺症 (日本獣醫師會研究叢書11)	日本獣醫師會編纂係／編	畜産獣醫出版協會	1946	57p, 18cm
A63	日本諸學講演集 第十輯 自然科学編	文部省教學局／編	印刷局	1944	52p, 19cm
A64	ピロプラズマ病 (日本獣醫師會研究報告1)	大橋 正之助／著	畜産獣醫出版協會	1946	49p, 18cm
A65	南蛮史料の発見 よみがえる信長時代(中公新書)	松田 毅一／著	中央公論社	1970	195p, 18cm
A66	日本歴史(上) (新日本新書10)	加藤 文三[等]／著	新日本出版社	1965	231p, 18cm
A67	人體寄生蟲(岩波全書164)	小泉 丹／著	岩波書店	1953	224p, 18cm
A68	人體寄生蟲通説(岩波全書57)	小泉 丹／著	岩波書店	1935	202, 17, 18cm
A69	寄生虫(創元医学新書)	松林 久吉／著	創元社	1956	162p, 18cm
A70	原蟲性腸疾患(醫學選書10)	松林 久吉／著	學術書院	1947	119p, 15cm
A71	皮膚科學から見たAllergy (醫學選書16)	弓野 勲／著	學術書院	1948	66p, 15cm
A72	哲學年表(アテネ文庫154)	高山 岩男／著	弘文堂	1951	82p, 15cm
A73	蛔虫の話 恐ろしい病害とその繁殖力	(薬の付録または広告?)	エーザイ株式會社	不明	6p, 13×18cm
A74	人體寄生蟲學 第一卷	横川 定, 森下 薫／著	吐鳳堂書店	1931	529, 38p, 25cm
A75	人體寄生蟲學 第二卷	横川 定, 森下 薫／著	吐鳳堂書店	1933	603, 45p, 25cm
A76	THE INTERNAL PARASITES OF DOMESTIC ANIMALS	THOMAS W. M. CAMERO	A. & C. BLAC K, LTD	1934	292p, 23cm
A77	ANIMAL AGENTS AND VECTOR S OF HUMAN DISEASE (SECOND EDITION)	Ernest Carroll Faust, Paul Chester Beaver, Rodney Clifton Jung	LEA & FEBIGER	1962	485p, 24cm
A78	Election Micrograph Of Helmi nth	Seiichi INAATOMI他	Okayama Universit y Medical School	1970	26cm
A79	Diagnostic Medical Parasitolo gy	EDWARD K. MARKEL L MARIETTA VOGEL M. A.	W. B. SAUNDERS COMPANY	1958	276p, 24cm
A80	THE ATLAS OF AGCHYLOSTM A. DUODENALE DUB. A MONOGR APH	A. LOOSS	不明	1911	図版, 60p, 28cm
A81	Die Nomina anatomica des Jahres 1895 den Nomina anatomica des Jahes 1935	Dr.Fr.Kopsch	丸善	1937	103p, 28cm
A82	COLLECTED PAPERS FROM THE NIPPON VETERINARY AND ZOOTECNICAL COLLEGE 1965- 1967	(機関誌等からの抜粋集)	THE NIPPON VETERINARY AND ZOOTECNICAL COLLEGE	1967	26cm

片山病関係《A書籍》

No	書名	編著者	出版社	出版年	規格
A83	宮川米次名譽教授論文抄録集	宮川 米次／著	宮川米次名誉教授 古稀祝賀会	1955	211, 9p, 26cm
A84	日本における動物実験の現状 1960	日本医学会・動物実験 現状調査会／編	日本医学会	1964	100p, 表, 26cm
A85	小宮義孝博士退官記念 研究業績目録集		小宮義孝先生 退官記念会	1970	36p, 26cm
A86	寄生虫生理化学研究会 講演抄録集 1962-1963		寄生虫生理化学 研究会	不明	25p, 24cm
A87	山梨縣に於ける日本住血吸蟲病概要	山梨縣衛生課／編	山梨縣	1928	82p, 22cm
A88	寄生蟲病豫防法案参考資料	内務省衛生局／編	内務省	不明	30p, 22cm
A89	蛔虫(Asaris lumbricoides L.)ニ関ス ル文献	吉田 貞雄／編		1923	22, 14p, 27cm
A90	牛結核豫防接種ニ就テ	有馬 頼吉[等]／著	中央獸醫會近畿 支會講演	1933	14p, 27cm
A91	健康教育の立場からみた香長平野北 部幼児学童の寄生虫保有状況とその 問題点一特に蟯虫について一	広瀬 和子／著	高知大学(卒業論 文)		42p, 25cm
A92	保健教育の立場からみた高知県内の 寄生虫	松村 覚／著	高知大学(卒業論 文)		41p, 25cm
A93	由良町ニ於ケル「ペスト」調査概報	北里 柴三郎[等]／著	傳染病研究所	1908	34p, 26cm
A94	鶏コクシジウム検査法	角田 清／著	武田薬品工業株 式会社	1967	16p, 26cm
A95	武蔵野市東部地区学校給食研究協議 会要綱		武蔵野市立本宿 小学校	1963	18p, 26cm
A96	武蔵野市立小中学校児童生徒の蟯虫 卵保有定期検査成績報告 VOL2		武蔵野学校薬剤 師会	1963	6p, 26cm
A97	武蔵野市立小中学校児童生徒の蟯虫 卵保有定期検査成績報告 VOL9		武蔵野学校薬剤 師会	1969	6p, 26cm
A98	寄生虫対策から見たし尿処理	小宮 義孝／著			9p, 26cm
A99	ルミノロジーとその応用	梅津 元昌／著	エーザイ株式會 社	1967	15p, 26cm
A100	金沢大学医学部寄生虫学教室 業績 目録 第1輯 吉村裕之教授着任7周年 を記念して		金沢大学	1981	29p, 26cm
A101	寄生虫感染における免疫とその診断 的応用	石崎 達／著			6p, 30cm
A102	寄生虫學科業績目録		大阪醫科大學病 理學教室		5p, 26cm
A103	寄生動物表	東京帝國大學醫科大學病 理學教室／編纂	東京帝國大學醫 科大學病理學教 室	1919	10p, 26cm

片山病関係《B逐次刊行物》

No	書名	巻・号	出版社	発行年月日	備考(印があるもの)
B1	日本医事新報	No. 1988	日本医事新報社	1962. 6. 2	「生きている日本住血吸虫研究史(上)」森下 薫
B2	〃	No. 1989	〃	1962. 6. 9	「生きている日本住血吸虫研究史(下)」森下 薫
B3	〃	No. 2186	〃	1966. 3. 19	日本科学史学会編「日本科学技術史体系・第24巻・医学(1)」蒲原 宏
B4	〃	No. 2458	〃	1971. 6. 5	「医師としての森鷗外(1)」伊達 一男
B5	〃	No. 2463	〃	1971. 7. 10	
B6	〃	No. 2617	〃	1974. 6. 22	「田原藩医萱生郁蔵と使西日録(上)」竹内 孝一
B7	〃	No. 2730	〃	1976. 8. 21	「サイクロロンによる癌の速中性子線治療」木田 盈四郎 「フィラリア症」松本 慶蔵
B8	〃	No. 2720	〃	1976. 6. 12	「寄生虫学会」辻 守康
B9	〃	No. 2787	〃	1977. 9. 24	「内科医に最低必要な免疫の常識(於・内科懇話会)」本間 光夫
B10	〃	No. 3352	〃	1988. 7. 23	
B11	獣醫畜産新報	No. 289	文永堂	1970. 10. 15	「ピチン(ピチオノール)による牛肝蛭の駆虫試験」野田 亮二ほか
B12	〃	No. 319	〃	1962. 1. 15	「犬の日本住血吸虫症に関する研究II」藤 幸二
B13	〃	No. 338	〃	1962. 11. 1	
B14	〃	No. 350	〃	1963. 5. 1	
B15	日本獣医師会雑誌	第11巻2号	日本獣医師会	1958. 2	「ピペラジン化合物による馬の駆虫実験」石原 忠雄ほか
B16	〃	第11巻4号	〃	1958. 4	「常呂町における夏癩馬の治療実験」沢田 昌彦ほか
B17	〃	第11巻11号	〃	1958. 11	「界面活性剤利用による寄生虫検査法の研究」東 胤弘ほか
B18	〃	第13巻6号	〃	1960. 6	「犬糸状虫におよぼすDithiazanineの影響について」大石 勇ほか
B19	東京医事新誌	No. 2686	東京医事新誌局	1630. 8. 9	
B20	〃	第76巻6号	〃	1959. 6. 20	「四国地方に於ける半鹹水産魚類を中間宿主とする吸虫類の研究」山中浪速
B21	〃	第76巻7号	〃	1959. 7. 20	「矮小条虫の中間宿主を介しての感染と其の直接感染との成立に関する生物学的研究」宮地 啓介
B22	寄生虫学雑誌	第3巻1号	日本寄生虫学会	1954. 6	第23回日本寄生虫学会記事特集
B23	〃	第7巻3号	〃	1958. 6	第27回日本寄生虫学会記事特集
B24	〃	第12巻6号	〃	1963. 12	「鉤虫飼育液中の酸素量の消長について」野田 昇ほか
B25	日本医科大学雑誌	第27巻9号	日本医科大学医学 会	1960	「各年令犬の犬回虫抗体に関する血清学的研究」原 一男

片山病関係《B逐次刊行物》

No	書名	巻・号	出版社	発行年月日	備考(印があるもの)
B26	〃	第46巻2号	〃	1979	「A/スワイン型インフルエンザに対する血清疫学的研究(とくにわが国のブタの間の流行について)山崎 正雄
B27	公衆衛生	第25巻10号	医学書院	1946. 12. 17	
B28	臨床消火器病學	第6巻4号	醫學書院	1958. 4. 1	「回虫迷入を伴える肝臓囊腫の1例」 新井 通正
B29	臨床書報	第4巻11号	東京醫學寫眞協會	1934	
B30	臨床月報	第282号	臨床月報社	1934. 9. 15	
B31	病理學雜誌	第3巻1号	病理學雜誌會	1944. 1	
B36	目黒寄生虫館月報	第64号	目黒寄生虫館	1964. 6	
B37	日本寄生虫學會記事	第21年	日本寄生虫學會	1952	
B38	〃	第15年	〃	1943	
B39	文生書院學術雜誌目	第52号	文生書院	1958	
B40	醫學総覧	第1巻第1号	全日本科學技術團體聯合會	1945. 7. 1	
B41	〃	第1巻第3号	〃	1945. 10. 15	
B42	日本寄生蟲學會記事	第15年	日本寄生虫学会	1943	

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C1	鼠の研究三十有餘年の間に獲得せし信念について	青木 文一郎／著	日本學術協會報告 第16巻第1号	1941. 3
C2	臺灣産鼠類の食性に関する研究(第一報)	青木 文一郎[等]／著	熱帯農學會誌 第8巻第4号	1936. 12
C3	蟻蟲ノ生物學的研究	赤木 勝雄／述	日本醫學 第14年第6・7号	1925. 2
C4	發熱時ニ於ケル血液ノ無機物及總酸鹽其平衡ニ関スル臨床的並ニ實驗的研究	秋谷 實／著	醫學中央雜誌 第484・5号	1926. 12
C5	日本住血吸虫ペプタイド抗原による皮内反応について	阿久沢 実, 土屋セツ子／著	アレルギー 第14巻第9号	1965
C6	日本住血吸虫感染ウサギ尿の免疫学的研究第2編 尿中の抗原性物質の性状について	阿久沢 実／著	久留米医学学会雑誌 第36巻第8号	1973. 8. 25
C7	日本住血吸虫感染ウサギ尿の免疫学的研究第1編 ゲル濾過法による尿中の抗原性物質の分離	阿久沢 実／著	〃	〃
C8	犬フィラリア症の皮内反応について	阿久沢 実[等]／著	日本獣医師会雑誌 第11巻第1号	1958. 1
C9	セロファン厚層塗抹法による犬の糞便検査について	阿久沢 実／著	日獣会誌 15	1962
C10	滿州に於ける肝臟「ヂストマ」に就て 1 特に奉天省した鐵嶺農村地方に於ける本吸蟲の蔓延状態に就て	淺田 順一／著	大陸科學院彙報 第4巻第6号	1940. 12
C11	横川吸蟲と其の近似種に就て	淺田 順一／著	臨床醫學 第22年第2号	1934. 2
C12	桂田博士に依り「山梨縣したの地方病に就て」なる論文に於いて猫體の肝臟に發見記載せられた第二種の寄生蟲卵の本態に就て	淺田 順一／著	東京醫事新誌 第2611号	1929. 2. 23
C13	我國ノ人體ニ蔓延セル「ヘテロフィエス屬吸蟲」ノ研究	淺田 順一／著	不明	
C14	鼠咬症ニ関スル知見補遺(第一回報告)	足立 清久／著	細菌學誌 第286号	
C15	喀痰中の結核菌證明に就て	阿南 新二／著	東京醫事新誌 第2754号	1931. 12. 5
C16	Strongyloides ratti Sandground, 1925の染色体に関する研究	阿部 康男, 田中 寛／著	寄生虫學雜誌 第14巻第6号	1965. 12
C17	ハブならびにハブ咬症に関する研究 ハブの行動分析, 特に照度との関係について	阿部 康男[等]／著	衛生動物 第16巻第3号	1965. 9
C18	糞線虫自由世代の培養とその發育に関する研究	阿部 康男[等]／著	鹿児島大学医学雑誌 第17巻第3号	1965. 11. 20
C19	脾臟ト甲状腺トノ交互作用ニ関スル研究 第一回報告 Kottmann氏反應ニヨル知見	網島 義人／著	岡山醫學會雜誌 第39年第10号	1927. 10. 31
C20	脾臟ト甲状腺トノ交互作用ニ関スル研究 第5回報告 赤血球沈降速度ニ就テ	網島 義人／著	岡山醫學會雜誌 第41年第1号	1929. 1. 31
C21	「スピロヘーテ」ニ對スル生体内培地トシテノ 率丸ノ價值	新井 俊雄／著	北海道醫學雜誌 第5年第4号	1927. 12
C22	Dithiazanine(エーザイSmiray)の驅虫効果に関する研究	荒木 恒治[等]／著	新薬と臨床 第9巻第7号	1960. 7. 10
C23	B型肝炎	荒巻 琢己／著	日医大誌 第53巻第6号	1986
C24	大・中家畜の内科疾患にたいするKanacillinの応用試験	有沢 道弥／著	家畜畜診 第50号	1965. 11
C25	家畜におけるKanamycinの応用試験	有沢 道弥[等]／著	日本獣医師会雑誌 第18巻第10号	1965. 10
C26	リペレントによる吸血昆虫の忌避試験	有沢 道弥, 橋本 秀彦／著	獣医畜産新報 No. 406	1965. 9. 1

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C27	牛のワヒ病の治療に関する研究Ⅲ. -(2) 抗ヒスタミン剤応用時の臨床病理学的観察(補遺)	有沢 道弥[等]／著	獣医畜産新報 No. 456	1967. 10. 1
C28	山梨県下の有病地における犬の日本住血吸虫の感染状況	飯島 利彦[等]／著	寄生虫学雑誌 第7巻第1号	1958. 2
C29	一般市販生牛肉からの住肉孢子虫の検出成績	池上 竹二[等]／著	公衆衛生院研究報告 15巻4号	1966
C30	スピロヘータに対するズルフオンアミド剤の効果に就て(豫報)	石井 信太郎[等]／著	東京醫事新誌 第3143号	1939. 7. 15
C31	「カラ・アザール」(黒熱病)ニ関スル研究(第2報) 実験動物トシテノ縞栗鼠に就テ	石井 信太郎[等]／著	實驗醫學雑誌 第23巻第8号	1939. 8. 20
C36	二重盲検法によるPyrantel pamoateとPiperazine phosphateの回虫に対する駆虫効果の比較	石崎 達[等]／著	医学のあゆみ 第83巻2号	1972. 10. 14
C37	鉤虫皮内反応の諸性質	石崎 達[等]／著	寄生虫学雑誌 第12巻第1号	1963. 2
C38	寄生虫皮内反応の本質とその応用	石崎 達／著	不明	
C39	日本住血吸虫病の診断法の研究 (2)日本遵血吸虫抗原皮内反応の判定基準と診断的価値	石崎 達[等]／著	寄生虫学雑誌 第13巻第5号	1964. 10
C40	山梨県における日本住血吸虫症の感染の場とその原因の追跡	石崎 達[等]／著	寄生虫学雑誌 第20巻第6号	1971. 12
C41	アフリカ鉤虫Necator americanusに対するPyrantel pamoateの集団駆虫効果	石崎 達[等]／著	寄生虫学雑誌 第20巻第3号	1971. 6
C42	子豚に集団発生した豚肺虫症について	磯田 政恵, 吉村 市郎／著	日本獣医師会雑誌 第9巻	1956. 10
C46	蛔蟲研究餘録	磯部 美知／著	臺灣醫學會雑誌 第244号	
C47	蛔蟲卵ノ卵殻構成ニ就テ	井田 正二／著	慶應醫學 第10巻第6号	1930. 6. 15
C48	条虫駆除剤Dichlorophenol剤の使用経験	伊東 亨, 大村 益一／著	臨床内科小児科 第13巻第7号	1958. 7. 10
C49	新鉤虫駆除薬Bephenium 塩 およびその誘導体による鉤虫駆除について	伊藤 亨[等]／著	新薬と臨床 第9巻第1号	1960. 1
C50	1973年岡山県下における蚊の出現状態と日本脳炎発生状況について	稲臣 成一[等]／著	岡山医学会雑誌 第86巻5, 6号	1974. 6. 30
C51	1974年岡山県下における蚊の出現状態と日本脳炎発生状況について	稲臣 成一[等]／著	岡山医学会雑誌 第88巻1, 2号	1976. 2. 26
C52	蛔蟲成熟卵ノ感染機轉ニ及ボス二三駆蛔薬ノ影響ニ就テ	稲留 藤次郎／著	慶應醫學 第10巻第5号	1930. 5. 15
C53	栄養ノ細菌感染竝ニ免疫抗体産生ニ及ボス影響ニ関スル實驗的研究	犬尾 貞治／著	衛生傳染病學雑誌 第28巻8号	1932. 8
C54	日本住血吸虫症に就て(二)	井上 束／著	治療及處方 第257号	1941. 7. 11
C55	日本住血吸虫症に就て(三)	井上 束／著	治療及處方 第258号	1941. 8. 11
C56	小形条虫Hymenolepis nanaに及ぼす硫酸パロモマイシンの影響	今井 壯一[等]／著	寄生虫学雑誌 第30巻第5号	1981. 10
C57	蟻虫の代謝に関する研究	岩城 保仁／著	内科の領域 第8巻第3号	1960. 3. 1
C58	寄生蠕虫の種に對する疑問	岩田 正俊／著	日本學術協會報告 第14巻第1号	1929. 4

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C59	都會地ニ見ラル内臓寄生蟲ニ就テ Ⅱ. 大阪府立某高等女學校全生徒の蟲卵検査報告(1)	岩田 正俊[等]／著	新興醫學 第2卷第3号	1939. 3
C60	豚の擴張條蟲に就て	岩田 正俊／著	日本學術協會報告 第16卷第1号	1941. 3
C61	日本住血吸蟲の發見と研究の歴史	岩田 正俊／著	兵庫縣中等教育博物學雜誌 第7号	1941. 11. 15
C62	Teramisolelによる豚肺虫の驅虫効果について	上野 計[等]／著	獣医畜産新報 No. 442	1967. 3. 1
C63	兵庫県下におけるネコの肺吸虫自然感染例について	宇賀 昭二[等]／著	寄生虫学雜誌 第32卷第4号	1983. 5. 27
C64	Dithiazanine Iodideによる鞭虫集団驅虫効果	内田 昭夫, 田畑 猛行／著	臨床消化器病学 第9卷第5号	1961. 5. 1
C65	白血球ノ赤血球貪喰現象ニ就テ(第一回報告)	内田 平次郎／著	東京醫學會雜誌 第34卷第4号	
C66	犬の瀉血に関する研究 Ⅰ. 犬における大量瀉血時の臨床および血液学的觀察	内野 富弥[等]／著	獣医畜産新報 No. 423	1966. 5. 15
C67	犬の瀉血に関する研究 Ⅱ. 犬における大量瀉血時の血清の生科学的觀察	内野 富弥[等]／著	日本獣医畜産大学紀要 第14号	1965. 11
C68	パラチヂウム腸炎ニ関スル實驗的研究	大井 司／著	臺灣醫學會雜誌 第247号	
C69	ブラジル鉤蟲Ankylostoma braziliense症ノ實驗的研究(第二報告 血像的所見)	大磯 友明／著	臺灣醫學會雜誌 第303号	1930. 6. 28
C70	赤かび中毒の本態に関する研究 1. 粗毒による實驗的急性中毒の病理組織学的研究	大久保 薫, 磯田 政恵／著	日本獣医畜産大学紀要 第16号	1967. 11
C71	骨體細胞成分ノ血像竝ニ造血臟器ニ及ボス影響ニ就テ(第五回報告)	大野 敏夫／著	實驗醫學雜誌 第12卷第7号	1928. 7. 20
C72	骨體細胞成分ノ血像竝ニ造血臟器ニ及ボス影響ニ就テ(第二回報告)	大野 敏夫／著	實驗醫學雜誌 第11卷第9号	1927. 9. 20
C73	骨體細胞成分ノ血像竝ニ造血臟器ニ及ボス影響ニ就テ(第一回報告)	大野 敏夫／著	實驗醫學雜誌 第11卷第9号	1927. 9. 20
C74	蛔蟲卵子ノ抵抗ニ就テ	大場 辰之允／著	臺灣醫學會雜誌 第227号	
C75	蛔蟲卵子ノ發育ニ就テ	大場 辰之允／著	臺灣醫學會雜誌 第228号	
C76	クロソイ <i>Sebastes schlegeli</i> の筋肉から発見された <i>Liliatrema skrjabini</i> Gubanov, 1953 のメタセルカリアについて	大林 正士, 紺野 哲郎／著	寄生虫学雜誌 第15卷6号	1966. 12
C77	犬腎虫症の1例	大林 正士[等]／著	獣医畜産新報 No. 328	1962. 6. 1
C78	アブの生態に関する研究—トラップによる捕巢—	大森 康正[等]／著	農林水産業特別試験研究	1972. 8
C79	アブの駆除に関する研究	大森 康正[等]／著	農林水産業特別試験研究	1972. 8
C80	蛔蟲及ビ十二指腸蟲驅除藥ノ効果ニ就テ	岡田 良一／著	實驗醫學雜誌 第15卷第4号	1931. 4. 20
C81	研究業績報告大正十一年度第十六號 臨床的竝ニ實驗的淋巴球ニ関スル研究追補	岡田 増右衛門／著	實驗醫學雜誌 第6卷第8号	

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C82	造血組織ノ系統分類ニ就テ	緒方 友三郎／著	日本内科学會雑誌 第26巻第8号	1938. 11. 10
C83	十二指腸虫豫防撲滅ニ関スル研究(第一報)	小縣 誠治／著	大阪醫學會雑誌 第24巻第6号	1925. 4. 6
C84	Exorchis oviformis Kobayashi (Trematoda)ノ第二中間宿主ニ就テ(歐文)	岡部 浩洋／著	福岡醫科大學雑誌 第30巻第10号	1937. 10
C85	工業用加熱炉の応用による動物屍体, 汚物類および塵芥の無臭焼却について, 実験的考察(第1報)	尾上 英一／著	日本公衛誌 第15巻第7号	1968. 7. 15
C86	蟻虫卵の寿命に関する研究(蛍光法・染色法と運動試験・脱殻試験の比較について)	奥村 和夫／著	日医大誌 第27巻第8号	1960
C87	界面活性剤の応用による蛔虫卵の生死鑑別	奥村 和夫／著	日医大誌 第27巻第4号	1960
C88	四鹽化炭素中毒ニ関スル研究	沖波 實譯／著	満鮮之醫會 第174号	1935. 9. 15
C89	朝鮮ニ於けるケル矮小條蟲ニ関スル研究(第一)	小倉 勝千代／著	朝鮮醫會雑誌 第26巻第7号	1936. 7. 20
C90	日本住血吸蟲病ト急性蟲様突起炎發生トノ關係ニ就テ臨床的組織學的並ニ統計的觀察	小澤 眞／著	實驗醫學雑誌 第12巻第10号	1928. 10. 20
C91	日本住血吸蟲病ノ貧血ニ関スル実験的研究	小澤 眞／著	實驗醫學雑誌 第14巻第12号	1930. 12. 20
C92	蛔蟲に因する小児の重篤な腸閉塞症に就て	越智 シゲル／著	東京醫事新誌 第2842号	1933. 8. 26
C93	人工感染肝蛭牛における小野皮内反応の消長について	小野 豊[等]／著	寄生虫学雑誌 第8巻4号	1959. 8
C94	北海道における蟻虫調査(1)網走管内津別地区学童における調査成績	折原 美代治[等]／著	寄生虫学雑誌 第13巻第1号	1964. 2
C95	ランブル鞭毛虫の寄生により胆嚢炎症状を惹起した二例	海野 泉／著	日医大誌 第27巻第6号	1960
C96	鉤虫驅虫の難易に関する研究	海野 泉／著	日医大誌 第27巻第6号	1960
C97	硫酸パロモマイシンによる下剤ぬき条虫驅虫について	影井 昇[等]／著	医療と新薬 第21巻第2号	1974. 2. 1
C98	寄生性疾患 小形・縮小・犬条虫による疾患	影井 昇／著	小児科Mook No. 28	1983. 5. 20
C99	寄生性疾患 土壤伝播線虫 Soil-transmitted nematodaによる疾患	影井 昇／著	小児科Mook No. 28	1983. 5. 20
C100	抗条虫剤としての硫酸 Paromomycinの作用機序に関する基礎的研究	影井 昇[等]／著	THE JAPANESE JOURNAL OF ANTIBIOTICS Vol.36 No.3	1983. 5
C101	臨床面より見た犬ジステンパー乾燥ワクチン「デューファー」の使用成績調査について	鍵山 禎吉, 有沢 道弥／著	獣医畜産新報 No. 499	1965. 10. 15
C102	鼠咬症「スピロヘーテ」ト鼠「スピロヘーテ」トノ異同	葛西 勝彌／著	細菌學誌 第324号	
C103	山梨縣下ノ地方病ニ就テ	桂田 富士郎／述	岡山醫學會雑誌 愛173号	1962. 6
C106	日本住血吸虫の拡散因子	加茂 正和／著	久留米医学学会雑誌 第20巻第8号	1957. 8. 25
C107	鞭蟲卵ニ及ボスX線ノ作用	河合 一郎／著		1926. 10. 2
C108	Gentiana-violettノ肝臟デストマ驅除効果ニ對スル動物實驗的研究	河井 為海／著	臺灣醫學雑誌 第36巻第5号	1937. 5. 28
C109	實驗的家兔肝臟デストマ病感染各期ニ於ケル合水炭素新陳代謝ニ関スル研究	河井 為海／著	臺灣醫學雑誌 第36巻第3号	1937. 3. 28
C110	ウィルス病の免疫學の一側面	川喜田 愛郎／著	日新醫學 第32号第2号	1943. 2

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C111	日本住血吸虫のin Vitroにおける産卵及び虫卵の發育—日本株とフィリピン株との比較—	川中 正憲／著	寄生虫学会誌 第32巻第4号	1983. 5. 27
C112	「コロイド」粒子の太さが網状織内被細胞系統機能に及ぼす影響に就て	川西 英雄／著	グレンツゲビート第7年第3・4号	1933. 3
C113	Cysticercus fasciolarisノ猫及び犬消化管内ニ於ケル運命	韓 京淳／著	慶應醫學 第14巻第6号	1934. 6. 15
C114	鞭虫症に関する研究(1)犬鞭虫の生態と寄生局所における病理組織学的変化	菊池 滋, 奥山 義光／著	寄生虫学会誌 第13巻第1号	1964. 2
C115	鞭虫症に関する研究(2)鉤虫症死亡例の病理組織学的変化	菊池 滋, 市原 靖／著	寄生虫学会誌 第13巻第1号	1964. 2
C116	撫順ニ於ケル「マラリア」ト其防遏に就テ	北島 榮太郎[等]／著	満州醫學雜誌 第21巻第2号	1934. 8. 11
C117	一二不明人體寄生蟲卵ニ就テ	北村 勝蔵／述	實驗醫報 第2年第16号	1916. 1. 12
C118	犬における 寄生虫性肉芽腫に関する調査	北山 晴彦[等]／著	寄生虫学雜誌 第16巻第1号	1967. 2
C119	組織球性細胞(網状織内被細胞)ノ機能ニ就テ	清野 謙次／著	京都醫學雜誌 第13巻第1号	
C120	寄生虫卵殺滅剤に関する研究(4)鞭虫卵および鉤虫卵に対する水溶性Thiabendazoleの殺卵効果ならびに農家屎尿貯溜槽内各種虫卵に対する効果	久津見 晴彦／著	寄生虫学雜誌 第14巻第1号	1965. 2
C121	満州に於ける原蟲性疾患と醫用昆蟲	久保 道夫／著	満州醫學雜誌 第36巻第3号	1943. 3
C122	縲蟲寄生ノ一異例	熊谷 巳三郎／著	慶應醫學 第12巻第4号	1932. 4. 15
C123	ジエチルカルバマジン剤による犬のショックについて	黒川 和雄[等]／著	日本獣医師会雜誌 第16巻第9号	1963. 9
C124	Whipcidelによるイヌ鞭虫の駆虫効果について	小山二三人, 阿久沢 実／著	獣医畜産新報 No. 276	1960. 4. 1
C125	犬におけるジエチルカルバマジン剤の投与方法に関する研究	黒川 和雄[等]／著	獣医畜産新報 No. 374	1964. 5. 1
C126	「ナトリウム」鹽ノ家兎血液及び造血臓器ニ及ボス影響ニ就テ	黒川 正府／述	大阪醫學會雜誌 第21巻第7号	
C127	江蘇省邳縣ニ於ケルKala-azarニ関スル調査成績	黒屋 政彦[等]／著	上海自然科學研究所彙報 第8巻	1938. 12
C128	肝臟「ヂストマ」病ハ免疫獲得可能ナルヤ否ヤニ就テ	桑原 庄三郎, 武藤 昌知／著	中央醫學會雜誌 第28巻第4号	1921. 7. 31
C129	肝蛭卵ト肥大吸蟲卵トノ鑑別ニ就テ	神坂 隆／著	臺灣醫學會雜誌 第308号	1930. 11. 28
C130	鉤虫症の皮内反応(3)抗原注射による反応の消長と時間の関係	河野 恵[等]／著	寄生虫学雜誌 第11巻第5号	1962. 10
C131	Acridinorange蛍光処理法による赤痢アメーバの生体観察 第Ⅱ編 培養染色法による観察	小机 弘之[等]／著	北関東医学 第4巻第4号	
C132	萬國動物命名規約	五島 清太郎／閱	動物學雜誌 第23巻第278号	
C133	家兎Oryctolagus cuniculusノ血液所見	小華和 忠士／著	日本畜産學會報 第2巻第5号	1927. 10. 7
C134	Pyrantel pamoate による回虫の集団駆除効果	小林 昭夫[等]／著	寄生虫学雜誌 第19巻第3号	1970. 6
C135	Pyrantel pamoateと Piperazine malate による回虫駆除効果比較	小林 昭夫[等]／著		1971. 4
C136	トキソプラズマ症	小林 昭夫／著	診断と治療 第61巻第7号	1973. 7. 1
C137	トキソプラズマ症の検査法—色素試験について—	小林 昭夫／著	日生研たより	1972. 12. 1
C138	吸蟲類生殖器ノ構造ニ就テ(第一報) 肥大吸蟲及肝蛭ノ雄性生殖器ノ構造ニ對スル知見補遺	小林 英一／著	臺灣醫學會雜誌 第308号	1930. 11. 28

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C139	利根川沿岸ニ於ケル日本住血吸蟲病ノ調査	小林 晴治郎, 高木 乙熊 / 著	細菌學雜誌 第231号	1915. 1
C140	衛生的糞尿處置法ノ研究(第一回概報)	小林 晴治郎[等] / 著	東京醫事新誌 第2404号	1925. 1. 17
C141	籠形二口蟲ノ動物學的方面	小林 晴治郎 / 著	日新醫學定期増刊	1922. 11. 9
C142	肝臟「デストマ」ノ研究(本報)	小林 晴治郎 / 著	細菌學雜誌 第202号	1911. 8. 10
C143	朝鮮産鼠蚤	小林 晴治郎 / 著	満鮮之醫會 第129号	1931. 12. 15
C144	双口吸虫の疫学的調査及び病原性に関する 研究—慢性感染症シリーズ—	小堀 進, 佐野 基人 / 著	獣医畜産新報 No. 577	1972. 10. 15
C145	蛔虫感染の疫学	小宮 義孝 / 著	薬事日報 第2595号ほか	1959. 2. 17
C146	ミヤリガイの殺貝剤に対する抵抗性に関する 研究(1)NaPCPIに対するそれについて	小宮 義孝[等] / 著	寄生虫学雑誌 第10巻第6号	1961. 12
C147	1-Bromo-2-naphthol(オーミン顆粒)と Bephenium hydroxy-naphthoate(Alcopar)の鉤 虫駆除効果比較試験	小宮 義孝[等] / 著	寄生虫学雑誌 第13巻第5号	1964. 10
C148	1-ブロム・ナフトール(2)(オーミン顆粒)による 鉤虫の集団駆虫方式設定に関する研究	小宮 義孝[等] / 著	寄生虫学雑誌 第12巻第5号	1963. 10
C149	ジチアザニン(Dithiazanine)による鞭虫およ び鉤虫駆虫効果試験	小宮 義孝[等] / 著	臨内小 第15巻第3号	1960. 3
C150	蛔虫駆除剤とそれに対する耐性問題	小宮 義孝 / 著	最新醫學 第14巻第8号	1959. 8
C151	上海地方ニ於ケル肝吸蟲ニ関スル研究 第四 報 肝吸蟲ノ第二中間宿主ニ就テ	小宮 義孝, 川名 浩 / 著	上海自然科學研究所彙報 第 5巻	1936. 4
C152	上海地方日華人間ニ於ケル腸内寄生蠕蟲蔓 延状態ニ就テ	小宮 義孝, 川名 浩 / 著	上海自然科學研究所彙報 第 5巻	1936. 4
C153	鉤虫の生物学	小宮 義孝, 安羅岡 一男 / 著	日本に於ける寄生虫学の研 究 第4巻	1964
C154	Raphidascaris sp.幼線虫およびContracaecum sp.幼線虫(A型)の排泄系について	小山 力[等] / 著	寄生虫学雑誌 第19巻第1号	1970. 2
C155	ヘビクイワン(Serpentarius secretarius)から見 出したTrichomonas gallinaeについて	小山 力[等] / 著	寄生虫学雑誌 第20巻第6号	1971. 12
C156	サツマアゲから見出したTrypanorhyncha の幼虫について(資料)	小山 力[等] / 著	動物學雜誌 第73巻10号	1964. 10. 15
C157	海産魚類およびスルメイカより見出されるAni sakidae幼線虫の形態学のおよび分類的検 討	小山 力[等] / 著	寄生虫学雑誌 第18巻第5号	1969. 10
C158	糸状虫免疫に関する基礎的研究(1)イヌ糸状 虫による感作モルモットに対するArthus現象 について	小山 二三人 / 著	寄生虫学雑誌 第8巻第6号	1959. 12
C159	糸状虫免疫に関する基礎的研究(2)成虫およ びイクロフィラリア抗原によるArthus現象につ いて	小山 二三人 / 著	寄生虫学雑誌 第10巻第2号	1961. 4
C160	糸状虫免疫に関する基礎的研究(2)成虫およ びイクロフィラリア抗原によるArthus現象につ いて	小山 二三人 / 著	寄生虫学雑誌 第10巻第2号 (予定)	1961. 4
C161	イヌ糸状虫症の治療剤について	小山 二三人 / 著	獣医畜産新報 No. 259	1959. 7. 15
C162	糸状虫駆虫剤としてのブロム水素酸アレコリン製 剤(テノバン)について	小山 二三人 / 著	日本獣医師会雑誌 第13巻第 6号	1960. 6
C163	ウマの尿中遊離低級脂肪酸のガスクロマトグ ラフィー	斎藤 京子, 原 稔生 / 著	日本獣医畜産大学紀要 第19 号	1971. 6
C164	非ステロイド系抗炎症薬のガスクロマトグ ラフィー	斎藤 京子, 原 稔生 / 著	日本獣医畜産大学紀要 第20 号	1971. 11

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C165	Neutralrot及びJanusgrunヲ以テセル超生体染色標本ニ於ケル血球所見並ニ該染色ノ単核白血球鑑別上ノ價值	齋藤 忠雄／著	熊本醫學會雜誌 第6巻第3号	1930. 3
C166	タヌキ, テン, アナグマ, イタチの膝管に寄生を認めたConcinnum ten(Yamaguti,1939)Travassos,1944について	齊藤 哲郎[等]／著	岡山医学会雜誌 第89巻3・4号	1977. 4. 30
C167	海岸地方ニ於ケル小學校児童ノ寄生蟲卵検査成績並ニ蛔蟲ノ児童身體發育及ビ學課成績ニ及ボス影響ニ就テ	齊藤 亨[等]／著	千葉醫學會雜誌 第2巻第1号	1938. 1
C168	新駆虫剤Dithiazanineによる鞭虫並びに東洋毛様線虫の集団駆虫の一経験	齋藤 寛／著	小兒科臨床 第13巻第12号	1960. 12. 1
C169	内務省式改良便所の一部落設置に依る寄生蟲豫防の實驗報告	齋藤 南／著	日本公衆保健協會雜誌	1937. 10
C170	日本住血吸蟲病豫防上より見たる野鼠	齋藤 南／著		
C171	那々(菱小)條蟲發育ニ就テノ實驗的研究	佐伯 義久／著	児科雜誌 第238号	
C172	日令に伴う哺乳期マウスの血液学的所見	榊 馨[等]／著	実験動物 13巻4号	1964
C173	結核菌發見時代の独逸醫學界とコッホ先生	佐多 愛彦／著	結核彙報 第4号	1941. 4
C174	日本住血吸虫病の免疫に関する研究 (6)蛍光抗体法について	佐藤 重房／著	寄生虫学雜誌 第14巻第2号	1965. 4
C175	ケージスの治療に関する研究 I. Ursodesoxychol酸の応用成績	佐藤 七三郎[等]／著	日本獣医畜産大学紀要 第15号	1966. 10
C176	東海地方の宮崎肺吸虫	佐野 基人[等]／著	日本医事新報 第2874号	1979. 5. 26
C177	静岡県大井川流域の宮崎肺吸虫の分布とその中間宿主の調査について	佐野 基人[等]／著	公衆衛生 第41巻第9号	1977. 9. 15
C178	利根川流域における日本住血吸虫症の分布について—人畜共通感染寄生虫病としての観察—	佐野 基人[等]／著	東京獣医学畜産学雜誌 第24号	1977. 3
C179	日本住血吸虫症の化学治療剤	佐野 基人／著	医学のあゆみ 第98巻12号	1976. 9. 18
C180	寄生虫病と免疫—第42回日本寄生虫学会総会の話題から—	佐野 基人／著	Immuno—Advance vol. 3 No. 4	1973. 6. 20
C181	最近の駆虫薬—世界各地で使用されている駆虫剤—	佐野 基人／著	獣医畜産新報 No. 600	1973. 10. 1
C182	日本住血吸虫症の免疫血清学的診断法—特にCOPTを中心に—	佐野 基人／著	Immuno—Advance vol. 4 No. 2	1973. 11. 20
C183	利根川流域における日本住血吸虫症について	佐野 基人／著	獣医畜産新報 No. 541	1971. 4. 15
C184	日本住血吸虫感染マウスのIsothocyanate誘導体, CGP-4540による実験的治療について(1)実験的治療成績	佐野 基人, 石井 明／著	薬理と治療 vol.6 No.5	1978. 5. 20
C185	日本住血吸虫感染マウスのIsothocyanate誘導体, CGP-4540による実験的治療について(2)寄生虫学のおよび病理組織学的観察	佐野 基人, 石井 明／著	薬理と治療 vol.6 No.6	1978. 6. 20
C186	日本住血吸虫の感染症—最近の動向と諸問題—	佐野 基人／著	MINOPHAGEN MEDICAL REVIEW 第22巻	1977. 9
C187	寄生虫の微生物媒介	佐野 基人／著	医学のあゆみ 第87巻第2号	1973. 10. 13
C188	利根川流域の風土病—日本住血吸虫症の疫学的調査成績	佐野 基人[等]／著	医学のあゆみ 第79巻第6号	1971. 11. 6
C189	人畜共通寄生虫症とその問題点	佐野 基人／著	獣医界 第11号	1973. 9
C190	Tropical Veterinary Medicine—新しい時代の新しい学問—	佐野 基人／著	獣医畜産新報 No. 526	1970. 9. 1
C191	静岡県における肺吸虫の調査(1)	佐野 基人[等]／著	寄生虫学雜誌 第27巻第4号	1978. 6. 12

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C192	東海地方の寄生虫性風土病	佐野 基人／著	医学のあゆみ 第108巻第3号	1979. 1. 20
C193	寄生虫病予防の問題点	佐野 基人／著		1974
C194	鶏に寄生する棘溝条虫の發育史に関する研究	沢田 勇／著	動物學雜誌 第62巻第6号	1953. 6. 15
C195	鶏に寄生する檀原条虫の發育史に関する研究	澤田 勇／著	奈良学芸大学紀要 第2巻第2号	1953. 2
C196	Bephwium hydrocynaphthoate製剤Alcopar-P並びにAlcopar顆粒による鉤虫集団駆虫効果について—特にアメリカ鉤虫優占地区における駆虫成績	沢田 利貞, 佐藤 重房／著	医学通信 第19年第778号	1964. 8. 19
C197	十二指腸蟲駆除の臨床的研究	柴田 純一郎／述	實醫 第12巻第11号	
C198	ビタミン缺乏歯牙發育ニ及ボス影響ニ就テ 第四編 對照實驗	柴田 信／著	實驗醫學雜誌 第13巻第8号	1929. 8. 20
C199	ビタミン缺乏歯牙發育ニ及ボス影響ニ就テ 第三編 ビタミンD缺乏食飼育城鼠ニ於ケル氏が發育ノ變化ニ就テ	柴田 信／著	實驗醫學雜誌 第13巻第7号	1929. 7. 20
C200	齒髓組織内ニ於ケル格子状纖維ノ組織學的研究竝ニ其象牙質生成ニ關スル意義	柴田 信／著	實驗醫學雜誌 第11巻第6号	1927. 6. 20
C201	寄生蟲検査法	清水 重矢／著	應用獸醫學雜誌 第9年第11号	1936. 9. 20
C202	糞便中の寄生蟲卵聚集法としての余の一方に就て	清水 重矢／著	臨床内科 第4巻第10号	1938. 10. 1
C203	蛔蟲性腸閉塞症に関する日本文献	清水 重矢／著	グレンツゲビート第14年第12号	1940. 12. 1
C204	蛔蟲性腸閉塞症に関する日本文献	清水 重矢／著	グレンツゲビート第14年第12号	1940. 12. 1
C205	幼年犬ノ血液像ニ就テ	清水 重矢／著	實驗醫學雜誌 第17巻第4号	1933. 4. 20
C206	寄生蟲ガ身體發育竝ニ智能ニ及ボス影響ニ關スル文献	清水 重矢／著	實驗醫學雜誌 第24巻第8号	1940. 8. 20
C207	蔬菜類ニ附著スル人體寄生蟲卵ニ關スル日本文献	清水 重矢／著	實驗醫學雜誌 第24巻第11号	1940. 11. 20
C208	モグラを宿主とする條蟲Hymenolepis diminuta(Rud.)について	清水 重矢[等]／著	衛生動物 Vol. 2 No. 2. 3	1951
C209	蟻虫の感染源に関する研究(Ⅰ) 便所扉の把手からの蟻虫卵検索成績	清水 重矢[等]／著	公衆衛生 第25巻第2号	1961. 2. 15
C210	蟻虫の感染源に関する研究(Ⅱ) 硬化および紙幣からの蟻虫卵の検索について	清水 重矢[等]／著	公衆衛生 第25巻第6号	1961. 6. 15
C211	公衆浴槽内における寄生蟲卵検査成績	清水 重矢, 中林 正子／著	公衆衛生 第15巻第4号	1955. 10. 15
C212	沃化ジチアザニン(Duthiazanine iodide)による豚肺虫症の治療効果	清水 重矢, 阿久沢 実／著	獸医畜産新報 No. 338	1962. 11. 1
C213	再び沃化ジチアザニンによる豚肺虫症の治療効果	清水 重矢, 阿久沢 実／著	獸医畜産新報 No. 350	1963. 5. 1
C214	Duthiazanineによる豚肺虫症の治療効果について	清水 重矢, 阿久沢 実／著		
C215	犬回虫に関する研究 Ⅱ. 犬回虫卵殻の構造について	清水 重矢[等]／著	日本獸医畜産大学紀要 第5号	1956. 10
C216	犬回虫に関する研究 Ⅰ. 犬回虫の先天性感染について	清水 重矢[等]／著	日本獸医畜産大学紀要 第6号	1957. 12
C217	生薬としての麦わらについて(Ⅱ)その1	清水 重矢／著	医学と生物学 第19巻第1号	1951. 4. 5
C218	人体寄生蟲卵傳播者としてのハエについて	清水 重矢／著	医学と生物学 第25巻第2号	1952. 10. 20
C219	武蔵野市内にて販賣される莓に附着する寄生蟻虫卵について	清水 重矢／著	医学と生物学 第24巻第5号	1952. 9. 5

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
G220	イヌ糸状虫抗原の研究 II Evans blue注入法による皮内反応	清水 重矢, 阿久沢 実/著	医学と生物学 第55巻第2号	1960. 4. 20
G221	イヌ糸状虫抗原の研究 III Diethylaminoethyl cellulose columnによって画分した抗原による皮内反応	清水 重矢, 阿久沢 実/著	医学と生物学 第61巻第4号	1961. 11. 20
G222	Dirofilaria immitis Leidy, 1856のマイクロフィラリアにみられたサーレス現象様の反応について	清水 重矢, 阿久沢 実/著	医学と生物学 第52巻第5号	1959. 9. 5
G223	Dirofilaria immitis抗原の研究 I Column Chromatographyによる分画抗原の皮内反応について	清水 重矢, 阿久沢 実/著	医学と生物学 第51巻第5号	1959. 6. 5
G224	アメーバ赤痢二對スル エメチン治療ノ實驗的研究	志村 宗平/述	日新醫學 第7年第2号	1917. 10
G225	アメーバ赤痢二對スル エメチン注射療法特ニエメチン注射ト アメーバトノ關係及大腸壁ノ變化ニ就テ	志村 宗平/述	日新醫學 第8年第3号	1918. 11
G226	蚊幼虫天敵魚としてのタップミノーに関する2, 3の實驗	村主 節雄[等]/著	岡山医学会雑誌 第84巻1.2号	1972. 2. 28
G227	蛔蟲に因る痙攣性腸閉塞症	鈴木 潔/著	大阪回生病院臨床集報 第19巻第3号	1936. 6
G228	Acridinorange蛍光処理法によるTrichomonas vaginalis の生体観察 第II編 培養染色法による観察	鈴木 禾甫/著	北関東医学雑誌 第6巻第1号	1955. 12. 25
G229	秋田県における横川吸虫に関する研究	鈴木 了司[等]/著	日本農村医学会雑誌 第11巻第1号	1963. 9
G230	秋田県における横川吸虫に関する研究(2)八郎瀧開拓前後における横川吸虫の感染状況	鈴木 了司[等]/著	日本農村医学会雑誌 第18巻第2号	1969. 7
G231	肝吸虫第二中間宿主の再検討(1)オイカワへの肝吸虫cerariaの感染	鈴木 了司, 小宮 義孝/著	寄生虫学雑誌 第15巻第3号	1966. 6
G232	アブの被害に関する研究—アブ類の唾液成分に関する基礎的研究—	関川 弘雄[等]/著		1972. 8
G233	鉤虫の感染経路に関する研究—特に仔犬の肺臓内より分離せるアメリカ鉤虫仔犬を以てせる経口の人体感染実験について—	関根 憲治/著	寄生虫学雑誌 第14巻第2号	1965. 4
G234	「メチールヴィオレット」ゴール氏液反應に就て	錢 潮/著	東京醫事新誌 第2646号	1929. 10. 26
G235	攝食ト白血球分布トノ關係, 殊ニ肺臓ニ於ケル其ノ調節装置ニ就テ	高泉 正暉/著	北越醫學會雑誌 第41年第4.5.6号	1926. 12. 20
G236	Dithiazanine iodideの使用経験	高岡 敏雄[等]/著	新薬と臨床 第10巻第1号	1961. 1
G237	秋田県における肝吸虫(Clonorchis sinensis)の感染状況(3)浅内沼周辺学童の感染率の推移	高野 喜正[等]/著	日本農村医学会雑誌 第18巻第2号	1969. 7
G238	都會在住兒童寄生虫調査統計ニ就テ(第二報)	高野 了三[等]/著	大阪醫學會雑誌 第23巻第7号	1924. 7
G239	ウエステルマン肺吸虫Paragonimus westermani(Kerbert, 1878) Braun, 1899好敵及び非好適宿主体内における發育について	滝沢 明祐/著	寄生虫学雑誌 第13巻第3号	1964. 6
G240	Filaria症の免疫学的研究(Ⅲ)分画精製した皮内反応抗原について	武井 一利[等]/著	日本衛生學雑誌 第19巻第5号	1964. 12
G241	生インフルエンザウイルスワクチンに関する研究 第一報 ウイルスの感染像について	楯 博[等]/著	日医大誌 第30巻第2号	1964
G242	Strongyloides stercoralis(Bavay, 1876)の犬への感染症に就て	田中 寛/著	鹿児島大学医学雑誌 第17巻第1号	1965. 5. 20
G243	ピルビニウム・パモエート懸濁液による人糞線虫症の治療の研究	田中 寛[等]/著	寄生虫学雑誌 第14巻第1号	1965. 2
G244	泰國に於ける重要な人體寄生蟲及び醫學に關係ある動物二三	田邊 操/著	訪泰醫學親善團報告	1942. 7. 30

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C245	秋田県における横川吸虫症の疫学的研究	谷 重和[等]／著	秋田県農村医学会雑誌 第21卷第1号	1974. 9
C246	豚肺虫 <i>Metastrongylus elngatus</i> DUJARDIN 1945に関する研究 II. 補助宿主に関する研究2	谷口 守男[等]／著	東京獣医学畜産学雑誌 第9号	1958. 11. 15
C247	田川炭鉱に於ける鉤虫感染	玉井 太郎／著	寄生虫学雑誌 第6巻第1号	1957. 3
C248	一酸化炭素ヲ以テスル動物總血液量ノ測定法ニ就テ	玉尾 延忠／著	岡山醫學會雑誌 第54年第12号	1942. 12. 31
C249	鉤虫幼虫の産生するHhaluronidaseに就いて(1)	多満城 智行／著	寄生虫学雑誌 第10巻第6号	1961. 12
C250	Evans-blue Techniqueによる肺吸虫幼虫の組織内侵入機転に関する実験病理学的研究	辻 守康／著	寄生虫学雑誌 第10巻第5号	1961. 10
C251	蟻虫の感染源に関する研究 母子相互間における蟻虫感染の意義についての考察	土屋 セツ子[等]／著	日本衛生學雑誌 第20巻第2号	1965. 6
C252	Sulfonamid劑と肝臓との関係	土屋 文雄[等]／著	體性 第26巻第7号	
C253	異性抗原及抗體ニ関スル研究補遺	寺門 賀／著	日本獸醫學會雑誌 第7巻第1号	1928. 3
C254	蘭領東インド産生薬クミスクテンの利尿作用に就いて	寺崎 由太郎／著	東京醫事新誌 第2900号	1934. 10. 13
C255	秋田県でみいだされた肝蛭症	照井 良彦[等]／著	日本医事新報 第2575号	1973. 9. 1
C256	多数寄生してゐた蛔蟲症の一例	土井 次夫／著		
C257	蠅ニヨル寄生蟲卵傳播ニ就テ	陶 熾／著	上海自然科學研究所彙報 第4巻	1935. 8
C258	<i>Trypanosoma gambiense</i> et <i>equiperdum</i> の毒素ニ就テ	登倉 登／著	醫學研究 第9巻第6号	1935. 6. 30
C259	犬の脳脊髄液に関する研究 I. 後頭下穿刺の予測深程と穿刺部位の臨床解剖学的研究	中井 隆夫, 醍醐 正之／著	日本獣医畜産大学起用 第15号	1966. 10
C260	「ヂフテリア」菌ノ毒素産生用無蛋白培地ニ関スル實驗	永井 吉郎／著	實驗醫學雑誌 第27巻第1号	1943. 1. 20
C261	「ヂフテリア」治療用血清ノ製法ニ就テ	永井 吉郎[等]／著	實驗醫學雑誌 第26巻第12号	1942. 12. 20
C262	原蟲性疾患ニ於ケル各種化學的治療藥品ノ作用方法ニ関スル研究 第二報	並河 汪／著	臺灣總督府中央研究所衛生部業績 第117	1931. 8. 28
C263	日本住血吸虫症におけるトリプトファン代謝	中込 仕／著	昭和医学会雑誌 第18巻第6号	1958. 11. 30
C264	日本住血吸虫規制廿日鼠肝のトリプトファンペルオキシターゼについて	中込 仕／著	昭和医学会雑誌 第18巻第6号	1958. 11. 30
C265	r-Globulinが日本住血吸虫症の予防及び治療に及ぼす影響	長崎 宗俊[等]／著	寄生虫学雑誌 第10巻第1号	1961. 2
C266	二酸化炭素と界面活性剤による糞池内回虫卵の撲滅について	中路 一／著	日医大誌 第26巻第11号	1959
C267	十二指腸蟲ノ發育ニ関スル實驗的研究 (第三編)犬十二指腸蟲 <i>Anchylostma caninum</i> , Ercolani仔蟲ノ固有宿主タル犬及非固有宿主タル家兎. モルモット白鼠體內ニ於ケル發育状態ニ就テ	中島 勝美／著	實驗醫學雑誌 第15巻第10号	1931. 10. 20
C268	アブの生態に関する研究—アブの発生源—	長島 義介[等]／著	農林水産業特別試験研究	1972. 8
C269	組織性肥胖細胞ニ就テ	中條 資俊／著	日新醫學 第17年第3号	1927. 11
C270	マンソン裂頭条虫の抗原性に関する研究	中林 正子／著	寄生虫学雑誌 第10巻第2号	1961. 4
C271	實驗的ニ <i>Trypanosoma evansi</i> ヲ感染セル動物ニ於ケル貧血ニ関スル研究 第一編 成熟家兎ニ於ケル所見	中村 敬司／著	實驗醫學雑誌 第25巻第9号	1941. 9

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C272	實驗的ニTrypanosoma evansiヲ感染セル動物ニ於ケル貧血ニ関スル研究 第二編 幼若家兔ニ於ケル所見並ニ病血血漿, 死滅病原體自個ヲ接種シタ際ノ所見 第三篇 造血臟器ニ於ケル組織學的所見	中村 敬司／著	實驗醫學雜誌 第25卷第10号	1941. 10. 20
C273	「アンチモノクロイド」ニ依ル肝臟デストマ症ノ治療實驗	中村 傑／著	實驗醫學雜誌 第28卷第3号	1944. 3. 20
C274	濾過性病原ニ関スル野口博士ノ研究	中村 豊／著	北海道醫學雜誌第6年第7号	1928. 7
C275	鼓腸	中村 陽三／著		
C276	牛のワヒ病の治療に関する研究 I. 病性に関する観察	中村 良一[等]／著	日本獣医畜産大学紀要 第11号	1962. 12
C277	牛のワヒ病の治療に関する研究 II. 抗ヒスタミン剤による治療試験	中村 良一[等]／著	日本獣医畜産大学紀要 第11号	1962. 12
C278	牛のワヒ病の治療に関する研究 III. 抗ヒスタミン剤応用時の臨床病理学的変化	中村 良一[等]／著	日本獣医畜産大学紀要 第12号	1963. 12
C279	牛のワヒ病の治療に関する研究 IV. Diethylcarbamazine Citrate, PrednisoloneおよびMethylarsonic Acid応用時の臨床病理学的観察	有沢 道弥[等]／著	日本獣医畜産大学紀要 第15号	1966. 10
C280	わが国の肝蛭症	中村 良一／著	獣医畜産新報 No. 322-341	1962
C281	赤色尿と臨床(1)	中村 良一／著	獣医畜産新報 No. 402	1965. 7. 1
C282	伝貧馬の心機能の心電図学的研究 III. 心電図を中心とした心機能の変化	中村 良一[等]／著	馬伝染性貧血に関する研究報告 第3集	1968
C283	経口的ニ與ヘラレタル「リグラ條蟲ノ蛙體及ビ二十日鼠體內ニ於ケル移行経路ニ就テ	名越 猛熊／著		
C284	アナグマ, イヌおよびブタから得た肺吸虫の種類	波部 重久／著	寄生虫学雜誌 第26卷第2号	1977. 4
C285	實驗的Chagas病ニ関スル研究 第二編 Trypanosoma cruziノ培養濾液ニヨツテ惹起セラレタル貧血ニ就テ(其ノ一)	新見 正喜／著	實驗醫學雜誌 第19卷第7号	1935. 7. 20
C286	鉤蟲科(Fam. Ancylostomidae)線蟲ノ生物學的研究 特ニ犬鉤蟲Ancylostoma caninumノ感染率, 免疫及大腸管内寄生部位ニ関スル實驗的研究	西 雅憲／著	臺灣醫學會雜誌 第35号第12号	1936. 12. 28
C287	蛔幼蟲ノ宿主體內ニ於ケル移行経路	錦織 正雄, 大場 辰之允／著	日新醫學 第13年第8号	1924. 6
C288	幼児のギョウチュウ検査成績とPyrvinium pamoate(Poquil)少量投与による集団駆虫の効果について	西村 猛[等]／著	寄生虫学雜誌 第14卷第2号	1965. 4
C289	犬 猫の感染症に対するKanacillinの応用実験	日本獣医畜産大学内科学教室	獣医畜産新報 No. 412	1965. 12. 1
C290	十二指腸蟲種類の蟲卵鑑別法と再び十二指腸蟲の臨床に對する提唱	濃野 垂／著	日本醫事新報 第714号	1936. 5
C291	東洋毛様線蟲ノ發育及ビ感染ニ関スル研究	濃野 垂／著	慶應醫學 第7卷第2号	1927. 2. 15
C292	「肺デストマ」寄生性腦膜炎ノ1例	野々村 太郎／著	岡山醫學會雜誌 第53年第1号	1941. 6. 15
C293	特發性血小板減少症(Essntille Thrombopenie)ニ就テ	蓮池 堯民／著	岡山醫學會雜誌 第427号	1925. 8. 31
C294	鞭蟲ノ發育ニ関スル實驗的研究	長谷川 徳三／著	福岡醫科大學雜誌 第17卷第8号	1924. 8
C295	十二指腸蟲ノ非固有宿主體內ニ於ケル移行状況ニ就イテ	長谷部 一郎／著	實驗醫學雜誌 第26卷第11・12号	1942. 11・12
C296	南洋ロタ島居住Chamoro族(Micronesia人)ノ腸管寄生蟲感染ニ関スル研究	秦 浩／著	朝鮮醫學會雜誌 第32卷第11号	

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C297	各年令犬の犬回虫抗体に関する血清学的研究	原 一男／著	日医大誌 第27巻第9号	1960
C298	[エオジン]嗜好細胞顆粒ニ関スル知見補遺	原田 綱橋／著	愛知醫學會雑誌 第38巻第7号	1931. 7. 20
C299	肺吸虫症の化学療法に関する研究	原田 豊／著	寄生虫学雑誌 第13巻第3号	1964. 6
C300	各種動物赤血球ニ對スル葡萄糖滲透性 Permeabilitatニ関スル研究補遺	伴野 孫三郎／述	日新醫學 第15年第7号	1926. 3
C301	Kala-azarノ貧血ニ関スル實驗的研究 第一編 實驗的Kala-azarノ血液像並ニ造血臓器ノ組織學的所見	藤井 勇／著	實驗醫學雑誌 第28巻第4号	1944. 4. 20
C302	粗大寄生動物性疾患ニ於テ免疫ノ獲得アリヤ	藤浪 鑑／著	京都醫學雑誌 第13巻第3号	1916. 7
C303	日本時住血吸虫病	藤浪 鑑／著	日新醫學 第6年第1号	1916. 9
C304	各年令犬に犬蛔虫を感染せしめた場合の腸管の病理組織所見	藤波 浩／著	日医大誌 第27巻第5号	1960
C305	濃塗標本並に塗抹標本より白血球絶対数を概算し得るや	古庄 乙彦／著	熊本醫學會雑誌 第4巻第1号	1928. 1
C306	臺灣産野鼠Rattus losea(SWINHOE)の門歯の出齧成長及摩耗に就いて	古畑 北雄／著	熱帯農學會誌 第12巻第3号	1940. 11
C307	関東地方における腸管寄生原虫の疫学的調査	堀 栄太郎／著	寄生虫学雑誌 第14巻第1号	1965. 2
C308	ヘノボヂ油劑の心電圖上に及ぼす影響	本田 信義／著	日本内科學會雑誌 第43巻第1号	1954. 4. 10
C309	蟻虫の感染特に逆行感染に関する研究	本間 誠／著	日医大誌 第26巻第12号	1959
C310	寄生蟲性膽道疾患の外科	榎 哲夫／著	日本外科學會雑誌 第54回第7号	1953. 10. 1
C311	蛔蟲卵「ズダン」Ⅲ染色反應ニ就テ	松崎 義周／著	慶應醫學 第8巻第6号	1928. 6. 15
C312	鉤虫感染仔虫および鉤虫卵に対する新組成ネオ・デグロンの殺滅効果に関する研究(1)実験室内における研究	松崎 義周[等]／著	寄生虫学雑誌 第14巻第1号	1965. 2
C313	Alcopar(Bephenium hydroxynaphthoate)の鉤虫駆除ならびに副作用に関する研究	松崎 義周[等]／著	寄生虫学雑誌 第12巻第5号	1963. 10
C314	日本産ニワトリ寄生のハジラミについて	松平 百合, 金子 清俊／著	衛生動物 第20巻第4号	1970. 1
C315	T. M. 法による蛔虫免疫の研究 I	馬淵 正樹	岐阜県医科大学紀要 第3巻第5号	1956. 2
C316	鉤虫物語	水野 哲夫／著	健康教室	
C317	科学者としての長與又郎先生	三田村 篤志郎／著	科學 12第6号	1941. 10. 16
C318	グラウンドイッチノ發生ト降雨トノ關係特ニ秋蠶時期ニ於ケル兩者ノ關係ニ就テ	皆川 弘毅, 皆川 静明／著	東京醫時新誌 第2149号	1919. 10. 25
C319	馬ノ傳染性貧血ノ病原體並ニ其純粹培養ニ就テ	宮川 米次[等]／著	實驗醫學雑誌 第2年第3号	1918. 9. 30
C320	輓近ニ於ケル寄生蟲病學ノ進歩ニ就テ	宮川 米次／述	實驗醫報 第4年第43号	
C321	輓近日本醫學者ニヨリテ爲サレタル寄生蟲病學ノ進歩	宮川 米次／述	日新醫學 第14年第1・2・3号	1924. 9・10・11
C322	醫學上に於ける日本人の獨創的研究	宮川 米次／著	實驗醫報 第24年第286・7号	1938. 9. 12
C323	過去十一ヶ年間一千六百有餘名の肺結核患者に對する治療成績	宮川 米次／著	内科及小兒科 第3巻第12号	1943. 12
C324	カラ・アザールの實驗的治療並に本症の貧血發起に関する考察	宮川 米次／著	日本傳染病學會雑誌 第16巻第8号	1942. 5. 20

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C325	寄生蟲性貧血の成因に関する考察	宮川 米次／著	病理學雜誌 第1巻第1号	1942. 1. 1
C326	肝臓デストマの一新殺虫法に就て 予報	宮川 米次、清水 重矢／著	治療及處法 257号	1941. 7
C327	個體膠質の生物學的作用に関する研究(第十報)	宮川 米次[等]／著	治療及處法	
C328	寄生蟲病性貧血と其の本態	宮川 米次／著	診療大観 第9巻第3号	
C329	生物體內ニテ死滅セル細胞ノ成分ノ生物學的機能ニ就テ 附 人體並ニ生物體ノ生活現象ニ関スル一新考察	宮川 米次／著	長野縣醫學會雜誌 第13巻第1号	
C330	所長信任の挨拶と所員に對する希望	宮川 米次／著	實驗醫學雜誌 第18巻第2号	1934. 2. 20
C331	人體寄生蟲學と五島先生	宮川 米次／著	動物學雜誌 第48巻8・9・10号	1936. 10
C332	生活現象と社會現象との比較	宮川 米次／著	日本學術協會報告 第3巻	1927
C333	人體寄生蟲並に原蟲病に関する二三の近業	宮川 米次／著	東西醫學大観 第28号	1930. 1
C334	十二指腸蟲症ノ貧血ニ関スル實驗的研究 第1.2報 血液學的、組織學的検索	宮川 米次[等]／著	實驗醫學雜誌 第17巻第10号	1933. 10. 20
C335	十二指腸蟲症ノ貧血ニ関スル實驗的研究 第3報 固有宿主ノ肺臟ヲ通過セル幼蟲ノ非固有宿主ニ對スル貧血發現ニ就テ	宮川 米次[等]／著	實驗醫學雜誌 第17巻第10号	1933. 10. 20
C336	實驗的肝臓デストマ症の一新治療法に就て	宮川 米次、清水 重矢／著	治療及處法 263号	1942. 1. 11
C337	睡眠病々原體「トリパノゾオマ、ガンビエンゼ」並ニ「ヅラ」病々原體「トリパノゾオマ、エバンシイ」の一新滅殺法の發見(豫報)	宮川 米次、清水 重矢／著	實驗醫報 第327号	1942. 1. 12
C338	睡眠病ヅラ病ドウリン病の一新療法	宮川 米次、清水 重矢／著	治療及處法 272号	1942
C339	「 Dengue 」に就の経過 特性及びし主要症状	宮川 米次／著	實驗醫報 第29年第337号	1942. 11. 12
C340	トリパノゾオマ病に對するアンチモン・コロイドの治療實驗	宮川 米次／著	南方醫藥研究資料 第1号	
C341	特殊の方法に依つて膠質化せるキニーネ(C. M. Cと命名)に依るマラリアの一新治療法に就て (第二回報告)膠質状態化せるキニーネに依る人マラリア治療後の再發の有無並びに同劑に依る鳥マラリア治療所見	宮川 米次[等]／著	日本臨床 第2巻第8号	1944. 8. 25
C342	鼠蹊淋巴肉芽腫ノ病原體ニ関スル研究 (第七回報告)組織培養法ニヨル本病々原體ノ培養	宮川 米次[等]／著	實驗醫學雜誌 第20巻第3号	1936. 3. 20
C343	熱帯病學の範圍	宮川 米次／著	臨床醫學 第20年第7号	1932. 7
C344	日本住血吸蟲病	宮川 米次／著	醫學輯覽 第63号	
C345	日本住血吸蟲病ノ病原的方面	宮川 米次／述	日新醫學 第6年第1号	1916. 5. 9
C346	日新醫學分冊 寄生蟲感染ノ経路	宮島 幹之助／講術	日新醫學 第2年第8号	1913. 4. 27
C347	朝鮮産「カハニナ」類ニ就テ	宮永 宗男／著	朝鮮博物學會雜誌 第9巻第36号	1942. 10. 30
C348	十二指腸蟲症ノ貧血喚起ノ發生機轉ニ関スル實驗的研究 第一編 十二指腸蟲羅患犬ノ血液ヲ犬、家兎ニ注入シタル場合ノ貧血發來ニ就テ	村田 恭造／著	實驗醫學雜誌 第27巻第6号	1943. 6. 20

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C349	十二指腸蟲症ノ貧血喚起ノ發生機転ニ関スル實驗的研究 第二編 十二指腸蟲羅患犬ノ血液ヲ犬,家兎ニ注入シタル場合ノ造血臟器ノ組織學的所見	村田 恭造／著	實驗醫學雜誌 第27巻第7号	1943. 7. 20
C350	犬絲状蟲仔蟲ノ末梢血管内定期出現性ニ関スル實驗的研究 (第二報)	村田 一／著	醫研 第13巻第4号	
C351	松下博士著「フィラリア蟲病及象皮病論」ヲ讀ム	望月 代次／述	日新醫學 第3年第8号	1914. 4
C352	臺北醫學專門學校生徒ノ糞便検査成績	森岡 廣一[等]／著	臺灣醫學會雜誌 第35巻第7号	1936. 7. 28
C353	寄生蟲學に於ける五島先生の御貢獻	森下 薫／著	動物學雜誌48巻8.9.10号	1936. 10
C354	Dithiazaninによる蟻虫治療成績 殊にPiperazineとの併用による短期治療効果	森下 薫[等]／著	臨内小 第15巻第6号	1960. 6
C355	「鉤虫の撲滅」をめざして 一座談会一	森下 薫[等]／著	日本医事新報 第2038号	1963. 5. 18
C356	寄生虫学用語集(2)	森下 薫[等]／著	寄生虫学雜誌 第22巻第4号	1973. 8
C357	寄生虫和名選考委員会報告	森下 薫／著	寄生虫学雜誌 第12巻第4号	1963. 8
C358	寄生虫和名選考委員会報告(追加)	森下 薫／著	寄生虫学雜誌 第13巻第4号	1964. 8
C359	虹口マーケット販賣蔬菜及び漬物類の蟲卵検査成績	森下 哲夫／著	同仁會醫學雜誌 第15巻第9号	1941. 9. 20
C360	浙江・江蘇兩省に於て検査したマイクロフィラリアの感染度並びにその種類 (第1報)	門馬 健次／著	同仁會醫學雜誌 第16巻第6号	1942. 6. 20
C361	浙江省舟山列嶋に於けるMicrofilaria malayiの分布	門馬 健次／著	同仁會醫學雜誌 第16巻第8号	1942. 8. 20
C362	浙江省杭州に於ける肥大吸蟲及び赤痢アメーバの検出率	門馬 健次／著	同仁會醫學雜誌 第17巻第12号	1943. 12. 20
C363	我國寄生蟲學界に於ける恩師吉田貞雄先生の功績	門馬 健次／著	東京醫事新誌 第3106号	1938. 10. 12
C364	大阪に於ける小兒蟻虫寄生の蔓延	門馬 健次, 神谷 清／著	治療と経験 第3巻第21号	1939. 2
C365	常用調味料ノ蛔蟲卵發育ニ及ボス影響ニ就テ	八木 胤幸／著	慶應醫學 第13巻第3号	1933. 3. 15
C366	鉤虫の感染様式に関する研究一特にアメリカ鉤虫感染期仔幼虫及び脱纖維素血液で処理せるズビニ鉤虫仔虫を以てせ人体経胃感染実験について一	安戸 一皓／著	日本衛生学雜誌 第19巻第5号	1965. 1
C367	ウイルス性疾患の血清疫学的研究一特にインフルエンザHI抗体保有状況の解析一	藪内 清／著	日本伝染病学会雜誌 第40巻第5号	1966. 8. 20
C368	青森県下における広節裂頭条虫の症例について	山口 富雄[等]／著	日本医事新報 No. 2820	1978. 5. 13
C369	十二指腸蟲症ノ統計的觀察	山崎 政治／著	十全會雜誌 第40巻第2号	1935. 2
C370	エキノコックス症防遏上犬に関する諸問題(その1)	山下 次郎／著	北獣会誌 11	1967
C371	エキノコックス症防遏上犬に関する諸問題(その2)	山下 次郎／著	北獣会誌 11	1967
C372	實驗的海猿再歸熱ノ再發ニ就テ	山下 朝橘／著		
C373	イヌ鉤虫Ancylostoma caninumの幼若虫に対するThiabendazoleの驅虫作用	山ノ内 信一[等]／著	医学と生物学 第71巻第4号	1965. 10. 10
C374	鉤虫の感染経路に関する研究一特に仔犬の皮内より分離せるアメリカ鉤虫仔虫を以てせる経口の人体感染実験について一	山本 昌明／著	寄生虫学雜誌 第14巻第2号	1965. 4
C375	各年令層の犬にける犬回虫感染幼虫を中心とした肝, 肺の病理所見	鏝田 義男／著	日本内科学会雜誌 第47巻第7号	1958. 10. 10

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C376	肥大吸蟲(薑片蟲)病患者ノ血液像ニ就テ	楊 述祖／著	上海自然科學研究所彙報 第3卷	1934. 9
C377	肺ヂストマ病ノ治療ニ関スル研究	横川 定[等]／著	臺灣醫學會雜誌 第39卷第2号	1940. 2. 28
C378	肺「ヂストマ」ノ發育ニ関スル研究 特ニ蟹ヲ中間宿主トスル肺「ヂストマ」以外ノ小吸蟲ニ就テ(第一報)	横川 定／著	岡山醫學會雜誌 第330号	1917. 7. 31
C379	横川氏メタゴニウムス病論	横川 定／述	日新醫學	1922. 9
C380	臺灣公學校兒童ノ寄生蟲調査 特ニ蛔蟲ノ醫學的並ニ生物學的觀察	横川 定, 分島 整／著	臺灣醫學會雜誌 第31卷第6号	1932. 6. 28
C381	ニ口蟲類ノ生物學的研究	横川 定／著	岡山醫學會雜誌 第336. 337号	1918. 1. 31
C382	日本住血吸虫に関する研究 Trypan-blueによる日本住血虫症の皮内反応に就て	横川 宗雄[等]／著	公衆衛生 第14卷第1号	1954
C383	Bephenium hydroxynaphthoate(Alcpar)による鉤虫の集団駆虫成績	横川 宗雄[等]／著	医学通信 第16年第649号	1961. 1. 18
C384	タイ国東北部において人体に蔓延する棘口吸虫科の一種Hypoderaeum conoideum (Bloch,1782)Dietz,1909について	横川 宗雄／著	寄生虫学雑誌 第14卷第2号	1965. 4
C385	腸管寄生吸虫類に関する研究(2)千葉県下にみられた横川吸無主, 有害異形吸虫およびピギジオブシスについて	横川 宗雄[等]／著	寄生虫学雑誌 第14卷第6号	1965. 12
C386	千葉県利根川流域の日本住血吸虫症患者の発生およびその予防対策について	横川 宗雄[等]／著	寄生虫学雑誌 第22卷第3号	1973. 6
C387	北海道における肺吸虫症の分布調査について	横川 宗雄[等]／著	寄生虫学雑誌 第10卷第5号	1961. 10
C388	肺吸虫症の皮内反応に関する研究(IV)抗原の透析及び超遠心処理	横川 宗雄, 大島 智夫／著	寄生虫学雑誌 第7卷第2号	1958. 4
C389	本邦人の研究に成れる人體寄生蟲	吉田 貞雄／著	學友會誌 御臨幸記念号 吉田業報 第90号	1929. 8
C390	蛔蟲に就いての常識	吉田 貞雄／著		1936. 11
C391	蛔蟲研究の現状	吉田 貞雄／著	日本學術協會報告第16卷第2号	1941. 7
C392	蛔蟲によって起る疾患症状	吉田 貞雄／著	臨床日本醫學 第3卷第1号	1934. 1. 10
C393	寄生蟲學の進歩	吉田 貞雄／著	植物及動物 第6卷第1-5号	1938
C394	20周年に際し故飯島魁先生を偲ぶ	吉田 貞雄／著	植物及動物 第9卷第7.8号	1941. 7, 8
C395	蛔蟲に関する最近の研究に就て	吉田 貞雄／著	臨床日本醫學 第5卷第7, 8号	1936. 7, 8
C396	蛔蟲卵の發育並びに孵化に関する実験的研究 第1編 アンチホルミン処理蛔虫卵の發育および孵化について	吉田 美彦／著	千葉医学会雑誌 第39号3, 4号	1963. 11
C397	VB1保有量の実態調査(その1)	吉野 芳夫[等]／著	日医大誌 第29卷第1-4号	1962
C398	肝吸虫(Clonorchis sinensis)の生物学的ならびに病理学的研究(1)虫体のマウス体内における發育と運命	吉村 裕之[等]／著	寄生虫学雑誌 第21卷第3号	1972. 6
C399	肝吸虫(Clonorchis sinensis)の生物学的ならびに病理学的研究(2)小動物への感染実験	吉村 裕之, 大森 康正／著	寄生虫学雑誌 第21卷第4号	1972. 8
C400	Pyrantel pamoateによる腸管寄生線虫類に対する駆虫効果	吉村 裕之[等]／著	診療と新薬 第9卷第5号	1972. 5. 1
C401	肝吸虫症の実験病理学的研究	吉村 裕之／著	寄生虫学雑誌 第21卷	1972. 4. 1
C402	Parbendazoleの犬鞭虫に対する駆虫効果	吉村 裕之[等]／著	獣医畜産新報 No. 564	1972. 4. 1

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C403	蟻虫による穿孔性化膿性虫垂炎	吉村 裕之[等]／著	日本医事新報 第i2521号	1972. 8. 19
C404	ペット(犬, 猫)よりの寄生虫感染症	吉村 裕之／著	臨床検査 第17巻第2号	1973. 2. 15
C405	秋田県でみられた広節裂頭条虫感染例	吉村 裕之, 石郷岡清基／著	日本医事新報 第2624号	1974. 8. 10
C406	秋田県島海村における横川吸虫症の疫学的研究 I. 住民の感染状況並びに中間宿主特にウグイ(Tribolodon hakonensis)の横川吸虫メタセルカリア寄生状況について	吉村 裕之[等]／著	寄生虫学雑誌 第21巻第6号	1972. 12
C407	我が国におけるイヌ糸状虫感染症	吉村 裕之／著	MINOPHAGEN MEDICAL REVIEW 第30巻	1985. 5
C408	日本住血吸虫の発見に寄与した金大三教授の業績	吉村 裕之／著	日本医事新報 第3260号	1986. 10. 18
C409	駆蟲薬と其用法	與世里 盛夫／著	大阪醫事新誌	
C410	アンチモン劑(子オスチブナール)ニ依ル犬フィラリア症治療實驗	和田 馨／著	實驗醫學雑誌 第11巻第7号	1927. 7. 20
C411	Sodium Amytal 頸動脈注射の臨床實驗的觀察	和田 淳／著	醫學と生物學 第14巻第4号	1949. 4. 10
C412	日本住血吸蟲ノ感染時ニ於ケル皮膚ノ變化ニ就テ 第一～五編	渡會 次郎／著	實驗醫學雑誌 第19巻第8号	1935. 8. 20
C413	虫垂内蟻虫による臨床的並びに病理組織学的研究	和田 行一／著	日医大誌 第23巻第10号	1956
C414	肝蛭とヒト感染	渡辺 昇蔵／著	医学のあゆみ 第61巻第5号	1967. 4. 29
C415	肺臓「ヂストマ」ニ関スル研究(其ノ1)	渡邊 眞澄／著	岡山醫學會雑誌 第46巻第7号	1934. 7. 31
C416	小動物の疾患にたいするKanacillinの応用試験	有沢 道弥, 鍵山 禎吉／著	獣医畜産新報 No. 413	1965. 12. 15
C417	寄生蟲と其の駆除	磯部 美知／著		
C418	水田内におけるミヤイリガイ个体群の生態学的研究	伊藤 洋一／著	寄生虫学雑誌 第19巻第5号	1970. 10
C419	日本住血吸蟲發見の礎石	岩田 正俊／著	臨床醫報 第568号	1942. 1. 10
C420	日本住血吸虫に関する實驗並に小学生徒糞便寄生虫卵検査成績及其寓主兒童に及ぼす障碍程度調査成績報告	宇木 碩太郎／著		
C421	「ヂストマ」病患者病曆及ヒ培養紀事	大谷 周庵／著	東京醫學會雑誌 第8.9号	
C422	「ヂストマ」患者病曆續報	大谷 周庵／著	東京醫學會雑誌 第2巻第6号	
C423	綜説 日本住血吸虫—教室の業績を中心として—	岡部 浩洋／著	久留米医学会雑誌 第38巻	1975. 12
C424	日本住血吸蟲ノ發育ニ就テノ研究	桂田 富士郎, 長谷川 恒治／著	岡山醫學會雑誌 第235号	1909. 8. 31
C425	日本住血吸蟲論補遺第一	桂田 富士郎／述	東京醫事新誌 第1381号	
C426	山梨外數縣下ニ於ケル一種ノ寄生蟲病ノ病原確定	桂田 富士郎／述	東京醫事新誌 第1371号	1904
C427	寄生蟲病絶滅策	桂田 富士郎[等]／著	日本醫事新報 第876号	1939・6
C428	腫瘍ノ原因追加	金森 辰次郎／述	東京醫學會雑誌 第2巻第2号	
C429	佐賀県下奇病原因発見記事	栗本 東明／著	研瑤会雑誌 第1号	1892. 7

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C430	新寄生虫卵に就て	栗本 東明／著	研瑤会雑誌 第7号	1893. 12
C431	佐賀県下奇病原因発見記事	栗本 東明／著	東京醫學會雑誌 第6巻第12号	
C432	山梨縣ノ地方病ナル肝脾肥大ニ就テ	栗本 東明／著	東京醫學會雑誌 第1344号	1904. 2. 6
C433	日本住血吸蟲ノ佐賀縣下ニ於ケル關係ニ就テ	桂田 富士郎／述	東京醫事新誌 第1180号	1904
C434	新寄生蟲卵ニ就テ	栗本 東明／著	東京醫學會雑誌 第7巻第22号	1893
C435	フィリッピン並に台湾における日本住血吸虫病の現況について	佐野 基人／著	獣医畜産新報 No. 479	1968. 9. 15
C436	肺「デイストマ」蟲卵ニ因スル病變ノ一例	鈴木 立男／述	東京醫事新誌 第916号	1895. 10. 19
C437	日本住血吸虫症の小児身体發育に及ぼす影響に関する研究	重松 勝／著	久留米医学会雑誌 第14.15巻	1951, 12
C438	朝鮮ニ關係アル軟體動物文献目録	芝 昇／著	朝鮮博物學會雑誌 第18号	1934. 6. 30
C439	トリパノゾーマに對するアンチモンコロイドの殺蟲効果に関する小實驗	清水 重矢／著	綜合獸醫學雑誌 第2年第3号	1945. 5. 20
C440	ネオスチブナール(アルカリ性ニセル吐酒石)ニヨル實驗的肝臟ジストマ症ノ治療研究ニ就テ	白井 光次／著	研究業績報告大正15年度第2号	1926
C441	日本住血吸蟲症ニ關スル知見補遺	田中 修二／著	新潟醫科大學病理學教室研究報告 第9輯	1929. 9
C442	山梨縣下地方病、所謂肝脾肥大症ノ調査報告①	土屋 岩保, 遠山 景精／著	東京醫學會雑誌 第19巻第3号	1905. 2. 5
C443	〃 ②	土屋 岩保, 遠山 景精／著	東京醫學會雑誌 第19巻第3号	1905. 2. 5
C444	〃 ③	土屋 岩保, 遠山 景精／著	東京醫學會雑誌 第19巻第4号	
C445	〃 ④	土屋 岩保, 遠山 景精／著	東京醫學會雑誌 第19巻第5号	
C446	山梨縣下ノ地方病所謂肝脾臟肥大症ニ就テ	土屋 岩保／述	東京醫事新誌 第1375号	1904
C447	フィラリヤによる家畜の皮膚疾患に関するシンポジウム(第42回日本獣医学会)	中村 良一[等]／著	日本獣医学雑誌 第18巻	1956
C448	山梨縣地方病肝脾肥大症研究	新妻 由五郎／述	中外醫事新報 第536号	1902
C449	肝臟ジストマ病発見報告	福島 守雄／著	東京醫學會雑誌 第6巻第11号	1892
C450	日本住血吸蟲病豫防法	藤波 鑑, 末安 吉雄／著	日新醫學 第9年第3.4号	1919. 11, 12
C451	佐賀縣下奇病々状		中外醫事新報 第225-227号	1889. 8. 10
C452	虫卵ニ起因スル肝硬變ノ一奇症	馬島 永徳／著	東京學會雑誌 第2巻第16・17号	1888
C453	本會雑誌第19巻第3号ヨリ第5号ニ掲載セル土屋遠山兩學士ノ山梨縣下地方病調査報告ニ付記ス	三浦 謹之助／著	東京學會雑誌 第19巻第10号	1905. 6. 5
C454	三重縣下ニ於ケル「肝臟ジストマ」ノ蔓延状態ニ就テ	三重縣衛生課	中央醫學會雑誌 第28巻第5号	1921. 9. 30
C455	山梨縣下地方病ノ症候ニ就テ	三神 三郎／述	東京醫事新誌 第1377号	1904
C456	鼠血清に試みたW. F. R. の成績に就て	宮田 彝徳[等]／著	神戸市立衛生研究所調査研究報告 第11号	1952. 10
C457	栗本金森二氏の所謂新寄生蟲卵に屬する一例を述べて山梨縣地方病に及ぶ	村上 庄太／著	東京醫事新誌 第1252号	1902
C458	肝硬變之一例	山極 勝三郎／著	東京醫學會雑誌 第5巻第7号	1891

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C459	ヂストマ病研究報告	山極 勝三郎, 井上善次郎/著	東京醫學會雜誌 第4巻第18号	
C460	寄生蟲に對スル組織之反應第貳	山極 勝三郎/著	東京醫學會雜誌 第4巻第22号	1890
C461	ANTHELMINTIC EFFECT OF DITHIAZANINE IODIDE ON SWINE LUNGWORMS	MINORU AKUSAWA	THE KURUME MEDICAL JOURNAL Vol. 15, No. 1	1968
C462	Studies on the Morphology of Larval and Adult Lung Fluke in the Philippines, with a Proposition of New Name, Paragonimus Philippinensis n. Sp.	JIRO ITO	Jap.Padasit, Vol. 27 No. 2	1978
C463	One more case of human infection with Diplogonoparus grandis	Atsuo Ichihara		1968
C464	ANTIGENIC SUBSTANCE IN URINE OF RABBITS INFECTED WITH SCHISTOSOMA JAPONICUM	KOYO OKABE	SECOND INTERNATIONAL CONGRESS OF PARASITOLOGY COLLOQUIUM ON IMMUNODIAGNOSIS	1970
C465	DISCOVERY OF A CASE OF TRICHINOSIS IN JAPAN	Masashi Ohbayashi	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 5, No. 2	1957. 6
C466	GRYPORHYNCHUS NYCTICORACIS YAMAGUCHI, 1956 AND APHARYNGOSTRIGEA ARDEOLINA VIDYARTHI, 1937 FROM ARDEA CINEREA JOUYI CLARK	Masashi Ohbayashi	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 15, No. 1	1967. 3
C467	STUDIES ON ECHINOCOCCOSIS XV II	Masashi Ohbayashi	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 14, No. 1, 2	1966. 6
C468	ON SPICULOPTERAGIA YAMASHITAI N.SP.AND RINADIA JAPONICA N.SP FROM THE YESO ISLAND DEER CERVUS NIPPON YESOENSIS	Masashi Ohbayashi	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 14, No. 3.4	1966. 12
C469	A CASE OF CARDIAC MULTIFOCAL ECHINOCOCCOSIS IN A GERBIL	Miyoji Orihara	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 15, No. 2	1967. 6
C470	STUDIES ON ECHINOCOCCOSIS XIX	Masashi Ohbayashi	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 15, No. 2	1967. 6
C471	Natural Infection of Sparganum Mansoni in Cats Captured in Hyogo Prefecture, Japan	SHOJI UGA	JPN. J. Parasitol. Vol. 35, No. 3	1986. 6
C472	Preventive Effect of SDDS against Toxoplasmosis in Swine with Repeated Inoculations Toxoplasma Cysts	SATOSHI OHSHIMA	Japanese Journal of Parasitology Vol. 20, No. 1	1971
C473	THE DEVELOPMENT OF THE JAPANESE BLOOD-FLUKE, SCHISTOSOMA JAPONICUM KATSURADA, IN ITS FINAL HOST	WILLIAM W.CORT	THE AMERICAN JOURNAL OF HYGIENE Vol.1, No.1	1921. 1
C474	The value of external morphology in the identification of larval nematodes: a scanning electron microscope study	Mirani V. Weerasooriya	Z Parasitenkunde 72	1986
C475	OBSERVATIONS ON THE LIFE CYCLE OF GNATHOSTOMA SPINGERUM	Candio M.AFRICA	THE PHILIPPINE JOURNAL OF SCIENCE Vol.59, No.4	1936. 4

片山病関係《C論文等抜粹》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C476	THE REACTION PRODUCT WHICH INHIBITS REPRODUCTION OF THE TRYPANOSOMES IN INFECTIONS WITH TRYPANOSOMA LEWISI, WITH SPECIAL REFERENCE TO ITS CHANGES IN TITER THROUGHOUT THE COURSE OF THE INFECTION	FRANCES A.COVENTRY	THE AMERICAN JOURNAL OF HYGIENE Vol.1, No.2	1925. 3
C477	STUDIES ON THE ACCESSORY FACTOR FOR TOXOPLASMA DYE TEST	AKIO KOBAYASHI	Japanene Journal of Medical Science & Biology Vol. 22, No. 5	1969. 10
C478	EVALUATION OF SOMATIC AND "ES" ANTIGENS CAUSING IMMUNOLOGICAL INJURY OF MAST CELLS IN MICE INFECTED WITH ANISAKIS LARVAE	AKIO KOBAYASHI	Japanene Journal of Medical Science & Biology Vol. 25, No. 5	1972. 10
C479	COMPARISON OF THE DYE TEST AND HEMAGGLUTINATION TESTS BY THREE DIFFERENT TECHNIQUES IN THE SEROLOGIC DIAGNOSIS OF TOXOPLASNOSIS	AKIO KOBAYASHI	Japanene Journal of Medical Science & Biology Vol. 24, No. 2	1971. 4
C480	EFFECTS OF ANTICOAGULANTS ON THE DYE TEST FOR TOXOPLASMOSIS	AKIO KOBAYASHI	Japanene Journal of Medical Science & Biology Vol. 21, No. 1	1968. 2
C481	Morphological Studies on Thread Worm, Filarioidea	Noboru Kagei	Acta Med. Univ. Kagoshima, Vol. 5 No. 1	1963. 3
C482	The First Record of Filaria martis Gmelin, 1790 Found from Japanese Badger Meles meles anakuma temminck, 1844 in Japan	Noboru Kagei	JPN. J. Parasitol. Vol. 34, No. 3	1985. 6
C483	NUTRITIONAL REQUIREMENTS OF SCHISTOSOMA JAPONICUM EGGS	MASANORI KAWANAKA	J. Parasitol. Vol. 69 No. 5	1983
C484	A Minimum Essential Medium for Cultivation of Schistosoma japonicum Eggs	MASANORI KAWANAKA	J. Parasitol. Vol. 69 No. 5	1983
C485	THYMOCYTOTOXIC AUTOANTIBODIES INDUCED BY VARIOUS PARASITIC INFECTIONS IN MICE	TAKATOSHI KOBAYAKAWA	Japan. J. Trop. Med. Hyg. Vol. 11 No. 3, 4	1983
C486	A Case of Acute Abdominal Syndrome Caused by Anisakis Type-II Larva	Noboru Kagei	JPN. J. Parasit. Vol. 27, No. 5	1978
C487	HUMAN CASES OF INFECTION WITH CANINE WHIPWORMS, TRICHURIS VULPIS IN JAPAN	Noboru Kagei	Japan. J. Med. sci. Biol 39	1986
C488	STUDIES ON ECHINOCOCCOSIS XVIII	Tsukasa Sakamoto	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 15, No. 2	1967. 6
C489	Fine Structure of Penetration Gland Cells in the Genus Metagonimus	YASUMASA TONOGU	Japanene Journal of Parasitology Vol. 24, No. 5	1975. 10
C490	STUDIES ON THE TREATMENT OF EXPERIMENTAL LIVER-DISTOMIASIS WITH NEOSTIBNOL	MITSUJI SHIRAI	THE GOVERNMENT INSTITUTE FOR INFECTIOUS DISEASES Vol. 5	1926
C491	EXPERIMENTAL STUDIES ON THE ORAL INFECTION OF HOOKWORM: WITH SPECIAL REFERENCE TO THE MIGRATION OF LARVAE IN BODY OF HOST	MITSUJI SHIRAI	THE GOVERNMENT INSTITUTE FOR INFECTIOUS DISEASES Vol. 5	1926
C492	Observations on Rhabditis Hominis Kobayashi in the United States	J. H. SANDGROUND	The Journal of Parasitology Vol. 11	1925. 3

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C493	STUDIES ON THE ANTIGENICITY OF METABOLITES OF THE CANINE FILARIAE IN URINE	TADAO SAITO	THE KURUME MEDICAL JOURNAL Vol. 13, No. 1	1966
C494	Podoribates cuspidatus, a new oribatid mite of the family Mochlozetidae	Ippei Sakakibara	Japanese Journal of Sanitary Zoology Vol. 17 No. 1	1966. 3
C495	STUDIES ON ECHINOCOCCOSIS XV I	Tsukasa Sakamoto	THE JAPANESE JOURNAL OF VETERINARY RESEARCH Vol. 13, No. 4	1965. 12
C496	HEMAGGLUTINATION TEST IN SCHISTOSOMIASIS JAPONICA	SHIGEFUSA SAITO	The Gunma Journal of Medical Sciences Vol. 12 No. 4	1963. 12
C497	FLUORESCENT ANTIBODY STUDIES OF SCHISTOSOMA JAPONICUM INFECTIONS	SHIGEFUSA SAITO	The Gunma Journal of Medical Sciences Vol. 13 No. 3	1964. 9
C498	STUDIES ON THE SUBSTANCE RESPONSIBLE FOR THE SKIN TESTS ON CLONORCHIASIS	Toshisada SAWADA	THE JAPANESE JOURNAL OF EXPERIMENTAL MEDICINE Vol. 34 No. 6	1964
C499	STUDIES ON STRONGYLOIDIASIS OF THE PEACOCK 1	Tsukasa Sakamoto	The Japanese Journal of Veterinary Research Vol. 12 No. 3	1964. 9
C500	EPIDEMIOLOGICAL SURVEY OF LUNG FLUKE, PARAGONIMUS MIYAZAKII IN SHIZUOKA PREFECTURE, JAPAN	M. SANO	INTERNATIONAL JOURNAL OF ZOOSES Vol. 5 No. 2	1978
C501	EPIDEMIOLOGICAL SURVEY OF CANTONENSIS IN SHIMIZU SHIP-PORT, SHIZUOKA PREFECTURE, JAPAN	M. SANO	INTERNATIONAL JOURNAL OF ZOOSES Vol. 4 No. 2	1977
C502	TANNIC-ACID HEMAGGLUTINATION TEST WITH 7S AND 19S ANTIBODY IN SCHISTOSOMIASIS JAPONICA	SETSUKO TSUCHIYA	THE KURUME MEDICAL JOURNAL Vol. 13 No. 3	1966
C503	Studies on the Relationship between the Efficacies and the Forms of Antihelmintics in the Treatment of the Human Strongyloidiasis with Pyvini-um Pamoate Suspension, Gentian Violet and Dithiazanine	Hiroshi Tanaka	Acta Med. Univ. Kagoshima, Vol. 7 No. 2	1965. 8
C504	TRICHINELLA INFECTION IN A CAT IN MUKDEN	Yao-Ting Ch'in	THE CHINESE MEDICAL JOURNAL Vol. 51	1937
C505	CYSTICERCOSIS CELLULOSAE IN MAN	Y. L. CH'ENG	THE CHINESE MEDICAL JOURNAL Vol. 50	1936
C506	STUDIES ON "KASEN" OF HORSES IN HOKKAIDO II	Ryoichi Nakamura	The Japanese Journal of Veterinary Research Vol. 3 No. 2	1955. 6
C507	STUDIES ON "KASEN" OF HORSES IN HOKKAIDO III	Ryoichi Nakamura	The Japanese Journal of Veterinary Research Vol. 4 No. 3	1956. 9
C508	STUDIES ON "KASEN" OF HORSES IN HOKKAIDO V	Ryoichi Nakamura	The Japanese Journal of Veterinary Research Vol. 5 No. 3	1957. 9
C509	STUDIES ON "KASEN" OF HORSES IN HOKKAIDO VI	Ryoichi Nakamura	The Japanese Journal of Veterinary Research Vol. 6 No. 3	1958. 9

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C510	EXPRIMENTAL STUDIES ON THE TREATMENT OF SCHISTOSOMIASIS JAPONICA WITH TARTAR EMETIC. CLINICAL OBSERVATION, HISTOLOGICAL INVESTIGATION AND PATHOLOGICAL CHANGES ON ANIMAL INTOXICATED WITH TARTAR EMETIC.	MICHITOMO NISHI	THE GOVERNMENT INSTITUTE FOR INFECTIOUS DISEASES Vol. 11	1923
C511	Ueber einige neue Parasiten des Menschen	E. Baelz	BERLINER KLINISCHE WOCHENSCHRIFT No. 16	1883
C512	Studies on the Genus Giardia from Small Laboratory Animals I	Masashi Hiyama	日本獣医畜産大学研究報告第30号	1981. 12
C513	CHECK LIST PARASITIC HELMINTHS OF ANIMALS AND MAN IN CHINA	H. F. Hsu	THE CHINESE MEDICAL JOURNAL SUPPLEMENT I	1936
C514	The Reactions of the Miracidia of Schistosoma Japonicum and S. Heamatoebium in the Presence of Their Intermediate Hosts	ERNEST CAPPOLL FAUST	Journal of Parasitology Vol. 10	1924. 6
C515	An Assessment of the Molluscicidal Activity of B-2 and Some Other Chemicals against Oncomelania quadrasi	YUKIO HOSAKA	JPN. J. Parasit. Vol. 33, No. 1	1984. 2
C516	A NEW METHOD FOR THE CULTIVATION ON ANAEROBIC BACILLI WITH CYSTEINE IN MEDIA	SEIGO HOSOYA	The Japan Medical World Vol.5 No.4	1926. 4. 15
C517	THE JUVENILE FORM OF CENTRORHYNCHUS ELONGATUM YAMAGUCHI, 1935	Masaaki MACHIDA	The Japanese Journal of Veterinary Research Vol.13 No.3	1965. 9
C518	THE IN VITRO EFFECT OF IMMUNE SERUM UPON TRICHINELLA SPIRALIS LARVAE	EVELYN ABRAMS MAUSS	THE AMERICAN JOURNAL OF HYGIENE Vol.32 No.2	1940. 9
C519	DER ZWISCHENWIRT DES SCHISTOSOMUM JAPONICUM KATSURADA	K.MIYAIRI		1914
C520	IS FRAMBESIA TROPICA A NOSOLOGICAL ENTITY?	ISAO MIYAO	THE PHILIPPINE JOURNAL OF SCIENCE Vol.43, No.3	1930. 11
C521	Über die Veränderungen der Eier des Schistosomum japonicum unter den Einwirkungen verschiedener physikalischen und chemischen Agenzien und über einige prophylaktische Massregeln der Schistosomiasis	Yoneji Miyagawa		1916
C522	PROGRESS OF MEDICAL PARASITOLOGY IN JAPAN volume 1	Kaoru MORISHITA	MEGURO PARASITOLOGICAL MUSEUM	1964
C523	The flame cell pattern of the metacercaria of Pseudogalactosoma macrostoma YAMAGUCHI, 1942(Heterophyidae)		MEGURO PARASITOLOGICAL MUSEUM No. 5	1971
C524	Opalina pekinensis sp. Nov. (Protozoa, Ciliata)	Ryozo YAGIU	JOURNAL OF SCIENCE OF THE HIROSHIMA UNIVERSITY Vol. 7	1939. 4
C525	IN VITRO CULTIVATION OF THE HETEROPHID TREMATODE, METAGONIMUS YOKOGAWAI, FROM THE METACERCARITA TO ADULT	KAZUO YASURAOA	Japanese Journal of Medical Science & Biology Vol. 23 No. 3	1970. 6

片山病関係《C論文等抜粋》

No	書名	編著者	叢書名	出版年
C526	EFFECTS OF TEMPARATURE ON T HE DEVELOPMENT OF EGGS OF NEMATOSPIROIDES DUBIUS UNDE R AXWNIC CONDITIONS RELATIVE TO IN VITRO CULTIVATION	KAZUO YASUR AOKA	The Journal of Parasat ology Vol. 55 No. 1	1969. 2
C527	A New Tapeworm(Oochoristica ratti)of the Family Anoplocephalidae from Rattus rattus and R.r.alexandrinus	Satyu YAMAHUTI	JAPANESE JOURNAL OF ZOOLOGY Vol.7 No.3	1937
C528	STUDIES ON "KASEN" OF HORSE S IN HOKKAIDO IV	Jiro Yamashita	The Japanese Journal of Veterinary Reseach Vol. 5 No. 3	1957. 9
C529	AN EXPERIMENTAL STUDY ON TWENTY-FOUR SPECIES OF JAPANESE MOSQUITOES REGARDING THEIR SUITABILOTY AS INTERMEDIATE HOSTS FOR FILARIA BANCROFTI COBBOLD	SHINICHIRO YAMADA	THE GOVERNMENT INSTITUTE FOR INFECTIOUS DISEASES Vol.6	1927
C530	Paragonimus and Paragonimiasis	Sadamu Yokog awa	EXPERIMENTAL PARAS ITOLOGY Vol. 10 No. 1、2	1960
C531	PRESENT STATUS OF RESEARCH ACTIVITIES IN THE FIELD OF PARASITOLOGY IN JAPAN	MUNEO YOKO GAWA		1962
C532	IMMUNOLOGICAL DIAGNOSIS AS S CREENING METHOD FOR PARAGO NIMIASIS IN THE ENDEMIC AREA OF PARAGONIMIASIS	MUNEO YOKO GAWA		1962
C533	ANISAKIS-LIKE LARVAE CAUSING EOSINOPHILIC GRANULOMATA IN T HE STOMACH OF MAN	MUNEO YOKO GAWA	AMERICAN JOURNAL OF TROPICAL MEDICIN E AND HYGIENE Vol. 1 4 No. 5	1965
C534	Some Notes on the Encysted Larva of the Lung Distome	SADAO YOSHI DA	Jpurnal of Padasitology Vol. 2	1916. 6
C535	ON THE TREMATODA SPECIES PH OCITREMA FUSIFORME GOTO AND OZAKI, 1930 AND CRYPHOCOTYLE LINGUA	Kentaro YOSHI MURA	The Japanese Journal of Veterinary Research Vol. 13 No. 2	1965. 6
C536	Observations on the Mode of Sprea d and Prevention of Vesical and Int estinal Bilhaziosis in Egypt with addi tions to August, 1916	ROBERT T. LEI PER	PROCEEDINGS OF TH E ROYAL SOCIETY OF MEDICINE[Vol. 4	1916
C537	Fascioliasis of Ruminants in Japan	S. WATANABE	JAPAN AGRICULTURAL RESEACH QUARTERLY Vol. 2 No. 2	1967
C538	A Survey on Clonorchis sciensis and some other species of metacercari ac in fresh water fishes from Lake Izu-numa,Miyagi Prefecture		MEGURO PARASITOLOGICAL MUSEUM No. 5	1971. 6
C539	腸管鉄吸収	吉野 芳夫/著	医学のあゆみ 第48巻第10号	1964. 3. 7
C540	蟲卵二因スル纖維結核様新生物發見紀事偶然脚氣病屍二就キ發見セル者	三浦 守治/著	東京醫學會雜誌 第1巻第8号	1887
C541	貯蔵鉄のturnover	吉野 芳夫/著	医学のあゆみ おぼえがき	
C542	十二指腸蟲病病理	稗田 憲太郎/述	日新医学 第16年	
C543	家畜の寄生虫病とその問題点(1)~(14)	渡辺 昇蔵/著	畜産の研究 第14巻第2号~ 第15巻第4号	1960~1961

片山病関係《Dその他》

No	書名	編著者	出版社等	出版年
D1	第10回 日本熱帯医学会総会プログラム			1968. 11
D2	第20回 日本熱帯医学会総会プログラム			1978
D3	実験動物と獣医学に関する懇話会 話題趣旨 (共催: 第66回日本獣医学会, 日本学術実験動物研究連絡委員会)		北海道大学獣医学部	1968. 8
D4	第13回 東南アジア地域熱帯医学及び公衆衛生セミナー ご案内		日本熱帯医学協会	1979. 6
D5	第12回 日本アレルギー学会総会 「シンポジウム」皮膚反応			
D6	第40回 日本寄生虫学会大会			1971. 4
D7	日本寄生虫学会第24回西日本支部大会 プログラム			1968. 11
D8	第29回日本寄生虫学会西日本支部大会 プログラム		京都府立医科大学医動物学教室	1973
D9	第39回日本寄生虫学会西日本支部大会 プログラム・要旨		大阪府立大学農学部家畜内科学教室	1974
D10	第11回北日本寄生虫学会講演要旨(1)			1965
D11	第16回日本寄生虫学会北日本支部大会 プログラム		札幌医科大学第1外科教室	1969
D12	第19回日本寄生虫学会北日本支部大会 プログラム・要旨		日本寄生虫学会北日本支部	1972
D13	第20回日本寄生虫学会北日本支部大会 プログラム・要旨		日本寄生虫学会北日本支部	1973
D14	第21回日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部合同大会 プログラム		日本寄生虫学会・日本衛生動物学会北日本支部	1974
D15	第1回—第16回日本寄生虫学会, 第1回—第31回日本衛生動物学会 南日本支部大会演題総目録		日本寄生虫学会・日本衛生動物学会南日本支部	1965
D16	第25回日本寄生虫学会南日本支部大会・第22回日本衛生動物学会南日本支部大会 プログラム		日本寄生虫学会・日本衛生動物学会南日本支部	1972
D17	第26回日本寄生虫学会南日本支部大会・第23回日本衛生動物学会南日本支部大会 プログラム		日本寄生虫学会・日本衛生動物学会南日本支部	1973
D18	第15回日本寄生虫学会東日本支部大会		日本寄生虫学会	1955
D19	第18回日本寄生虫学会東日本支部大会		新潟大学医学部医動物学教室	1958
D20	第29回日本寄生虫学会東日本支部大会 プログラム			1969
D21	第32回日本寄生虫学会東日本支部大会 口演要旨			1972
D22	第33回日本寄生虫学会東日本支部大会 口演要旨			1973
D23	第34回日本寄生虫学会東日本支部大会			1974
D24	第35回日本寄生虫学会東日本支部大会 口演要旨			1975
D25	第36回日本寄生虫学会東日本支部大会 プログラム・口演要旨			1976

片山病関係《Dその他》

No	書名	編著者	出版社等	出版年
D26	座談會 満州の寄生蟲に就て	久保 道夫[等]/談		1943
D27	決定された和名案			1962
D28	寄生虫生理化学研究会会員名簿			
D29	宿題報告(第47回日本内科医學會總會報告 鉤蟲症の臨床)	北山 加一郎/著		1950
D30	寄生虫予防(新聞)		日本寄生虫予防会	1967. 4
D31	昭和十年中ニ於ケル人體寄生蟲保有者検査 並ニ驅除ニ関スル調(表)		内務省衛生局	1936. 4

片山病関係《E手書き資料》

No	書名	著者	年	備考
E1	寄生虫病学持論 回虫病論	清水 重矢		黒色のバインダー
E2	医動物学 授業用ノート	清水 重矢		緑色のバインダー
E3	医動物学 授業用ノート	清水 重矢		茶色のバインダー
E4	Memorandum Literature 1956	清水 重矢	1956	大学ノート
E5	Parasitology I	清水 重矢	1959	〃
E6	Parasitology II	清水 重矢	1959	〃
E7	備忘録	清水 重矢	1962	〃
E8	Schistosomiasis	清水 重矢	1962	〃
E9	Clinical Parasitology	清水 重矢	1962	〃
E10	Memorandum 1964	清水 重矢	1964	〃
E11	大学院研究生 大学院生 1967. 4	清水 重矢	1967	〃
E12	Memorandum (関係論文目録)	清水 重矢		〃
E13	寄生虫卵の大きさ 他	清水 重矢		原稿用紙
E14	医動物学総論	清水 重矢		〃
E15	爪垢、手指からの寄生虫卵検出成績	清水 重矢		〃
E16	妖化ジチアザミンによる鞭虫の駆除効果について I 犬鞭虫の駆除試験			〃
E17	食品衛生事典別巻 (表紙には上の記載があるが、中は色々な項目がある)		1972	〃
E18	(犬)回虫代謝物質の抗原性に関する研究	清水 重矢		〃
E19	卒業論文 山梨県に於ける日本住血吸虫症の防遏に関する研究	保坂 幸男		〃
E20	飼育液中の含N物についての実験 ほか			
E21	Malaria Human Protozoology 他	清水 重矢		
E22	Theileria mutans	清水 重矢		原稿用紙
E23	Gen. Toxoplasma	清水 重矢		〃
E24	「糸状虫免疫に関する基礎的研究(小山 二三 人/著)」とその評価	清水 重矢		〃
E25	内地に■殖したカムルチー稚魚■ (水産研究誌あ第34巻 第11号 1939)	中村 宇■/著	1939	写
E26	第1回日本連合医学会の内科部の席上演説したる		1960	

片山病関係<<E手書き資料>>

No	書名	著者	年	備考
E27	佐賀県下奇病病状ニ就テノ報告	堀内 篤蔵/著	1889	原稿用紙
E28	廣汎なる小腸切除並ニ邦人生体ニ於ケル小腸ノ長サニ就テ	渡辺 保/著	1921	〃
E29	Manson裂頭条虫の抗原性に関する研究	中村 正子/著		
E30	猫の寄生虫について(問い合わせの手紙)	松村 明/出	1966	
E31	豚の寄生虫 ほか			

次の資料は、整理困難のため一式を缶に保存する

・写真多数

・手紙

・はがき

・「フィラリアに関するもの」と袋に入れられたもの

「アンチモンコロイドに依る犬フィラリア症の治療に関する研究」 清水 重矢／著（原稿用紙）

「日本獣医学会雑誌 第6巻第1号」（1927. 3）

「ネオスチブナール(アルカリ性ニセル吐酒石)ニヨル實驗的肝臟ヂストマ症ノ治療研究ニ就テ」

白井 光次／著（研究業績報告 大正十五年度第二号）

「THE TREATMENT OF DOG HEART-WORM(DIROFILARIA IMMITIS LEIDY 1856)
WITH SOME ORGANIC ANTIMONY COMPOUNDS」

O. K. KHAW AND DTERHEN HAY CHEU (1936)

「アンチモン劑(子オスチブルナール)ニ依ル犬フィラリア症治療實驗」 和田 馨／著

(実験醫學雑誌 第11巻第7号 1927. 7. 20)

「糸状虫症の早期診断についての基礎的検討」 大野 家俊／著

(鹿児島大学医学雑誌第13巻第1号 1961. 4. 20)

「東京獣医畜産学会報 フィラリア特集号」（1952）

「獣醫畜産新報 No. 116」（1953. 8. 1）

「三價アンチモン製劑フアヂンノ日本住血吸蟲病ニ對スル治療的價值ニ就テ」 西村 勝／著

(熊本醫學會雑誌 第17巻第12号 1941. 7. 26)

「獣醫畜産新報 No. 114」（1953. 7. 1）

片山病関係<<F追加資料>>

No	書名	編著者	叢書名・出版社等	出版年
F1	備後春秋 第15号 P38 「藤井好直の系譜－末裔からの景慕と自戒－」	中山 正真/著	備後春秋編集部	1979. 4
F2	備後春秋 第16号 P89 「藤井好直の周辺－片山記執筆の背景と波紋－」	中山 正真/著	備後春秋編集部	1979. 9
F3	満州に於ける肝臓「ヂストマ」に就て 1. 特に奉天省下鐵嶺農村地方に於ける本吸虫の蔓延状態に就て	浅田 順一/著	大陸科學院彙報 第4巻 第6号	1940. 12
F4	江木鱈水と母方の藤井家(医友鱈水と生い立ち)	天野 美実/著	医友ふくやま 第6号	1978. 2
F5	1971年岡山県下における蚊の出現状態と日本脳炎発生状況について	稲臣 成一[等]/著	岡山医学会雑誌 第84巻 1, 2号(926, 927号)	1972. 2. 28
F6	1972年岡山県下における蚊の出現状態と日本脳炎発生状況について	稲臣 成一[等]/著	岡山医学会雑誌 第85巻 5, 6号(942, 943号)	1973. 6. 30
F7	1973年岡山県下における蚊の出現状態と日本脳炎発生状況について	稲臣 成一[等]/著	岡山医学会雑誌 第86巻 5, 6号(954, 955号)	1974. 6. 30
F8	1974年岡山県下における蚊の出現状態と日本脳炎発生状況について	稲臣 成一[等]/著	岡山医学会雑誌 第88巻 1, 2号(974, 975号)	1976. 2. 28
F9	福山市で見い出された東洋眼虫の人体寄生例	越智 常登[等]/著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第7巻	1996
F10	福山市の1男性から駆出された裂頭条虫について	数野 博[等]/著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第8巻	1997
F11	歴史に輝く八つの星	亀谷 了/著	全国日本学士会 学術新報 Vol.150号	1986. 1
F12	Praziquantellによる犬・猫の肝吸虫症の実験的治療	斎藤 哲郎[等]/著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第3巻	1992
F13	飼い猫に寄生した有線条虫Mesocestoides s.p. の1症例	斎藤 哲郎[等]/著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第4巻	1993
F14	ネコから吐出されたNybelinia surmenicolaの擬充尾虫	斎藤 哲郎[等]/著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第8巻	1997
F15	広島県福山市における飼育犬および飼育猫の寄生虫感染状況	斎藤 哲郎[等]/著	寄生虫学雑誌 第44巻 第2号	1995
F16	広島県福山市における飼育犬および飼育猫の外部寄生虫感染状況	斎藤 哲郎[等]/著	獣医畜産新報 JVM, Vol. 51 No. 10	1998. 10
F17	1995年度の広島県福山市における飼育犬および飼育猫の寄生虫感染状況	斎藤 哲郎[等]/著	獣医畜産新報 JVM, Vol. 51 No. 11	1998. 11
F18	飼い猫に寄生した吸虫Spelotrema capellaeの1症例	斎藤 哲郎[等]/著	日本獣医師会雑誌 第53号 第5号	2000. 5
F19	山陽地方のカニにおける吸虫Spelotrema capellaeのメタセルカリアの感染状況	斎藤 哲郎[等]/著	岡山大学医学部保健学 科紀要 第12(1)巻	2001
F20	牛の盲腸に寄生した平腹双口吸虫Homaloga ster paloniaeの1症例	斎藤 哲郎[等]/著	岡山大学医学部保健学 科紀要 第12(2)巻	2001
F21	「片山記」の焼失におもう	清水 重矢/著	日本医事新報 第291 2号	1980. 2. 16
F22	犬から吐出されたハリガネムシGordius sp. の日本における第1例	下江 俊光[等]/著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第4巻	1993
F23	福山地方の猫におけるツボガタ吸虫Pharyngostomum cordatumの感染率	頓宮 廉正・斎藤 哲郎/共著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第2巻	1991

片山病関係《F追加資料》

No	書名	編著者	叢書名・出版社等	出版年
F24	猫における有害異形吸虫の治療と釣り針の摘出例	森重 和久[等]/著	岡山大学医療技術短期 大学部紀要 第3巻	1992
F25	SCHISTOSOME DERMATITIS IN JAPAN	TAKUZO ODA	Progress of Medical Parasitology in Japan Vol. V	1973. 3
F26	Ultrastructural Studies on the Cercarial Integument of Clonorchis sinensis (Cobbold, 1875)Looss, 1907	TETSURO SAITO	Japanese Journal of Parasitology Vol. 26, No. 3	1977. 6
F27	Fine Structure of Penetration Gland Cells in the Genus Metagonimus	YASUMASA TONIGU 他	Japanese Journal of Parasitology Vol. 24, No. 5	1975. 10
F28	Research on the metacercaria of Paragonimus westermani in Izu Peninsula	Yukio Oshima 他		1967. 8. 15
F29	目黒寄生虫館ニュース 第147号 —「片山記」に関する特集—		目黒寄生虫館	1982. 3
F30	片山病との闘い—終息宣言を前に— 1~6		山陽新聞 広島東部版 (連載)	1984. 8. 21 ~26
F31	片山病	御幸小学校 6年1組 片山病研究会	御幸小学校	1978. 3. 23

斎藤哲郎獣医師より寄贈いただいた資料を、新たに《F追加資料》として加え「改訂版」とした。